

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(2022年5月8日までにご連絡をいただいた方々)

回生	氏名	死亡年月日	回生	氏名	死亡年月日	回生	氏名	死亡年月日	回生	氏名	死亡年月日
38	今井 資八	2016/7/17	49	笠原 俊彦	2020/7/	56	山田 弘	2022/4/3	66	片倉 慎介	2014/7/
39	前田時太郎	2020/7/	49	小林 恩	2021/11/12	57	小倉 滋夫	2020/1/28	66	笹岡 正俊	2021/11/18
38	牛山 邦男	2017/9/3	49	五味 利夫	2021/4/20	57	片倉 新平	2022/3/5	66	立石征美江	2021/7/9
40	矢崎 文彦	2020/11/20	49	日達 進	2022/2/9	57	小林 俊光	2021/6/7	66	平林 信裕	2022/1/30
41	斉藤 務	2014/7/14	49	藤森 睦雄	2020/3/8	57	白田 充	2020/9/20	67	小沢 進	2020/8/15
41	花岡 市郎	2021/6/28	49	藤森 徳安	2018/7/	57	福島 宏	2017/10/5	67	藤田 栄一	2021/5/23
42	宮坂 正一	2021/9/29	49	山添 茂一	2019/7/	57	宮坂 康夫	2020/10/7	67	西村 巖彦	2020/10/12
42	若林 健二	2019/1/22	49	横道 長幸	2021/1/29	58	加藤 宏治	2020/1/16	67	浜野 孝雄	2021/11/15
43	北村 勝郎	2018/4/4	50	秋山 宣夫	2022/4/13	58	上條 衛	2020/1/15	67	矢萩 哲也	2021/7/20
43	藤原 悦二	2020/4/4	50	岩田 昌久	2020/7/6	59	飯田 力也	2020/12/23	69	春日 宗夫	2021/6/14
43	藤原 一平	2021/8/14	50	五味 郁夫	2019/7/29	59	高見 賢三	2018/7/	69	北原 正信	2022/3/12
43	藤原 健二	2021/9/4	50	古宮 長太郎	2021/1/6	59	林 智英	1950/12/21	69	木下 健治	2021/10/28
44	増沢健次郎	2019/1/6	50	平井 庸一	2021/12/7	59	平尾 三喜	2020/11/19	69	藤岡 誠治	2022/8/19
44	秋山 義明	2019/10/1	50	横内 達夫	2021/9/30	59	細野 祐	2021/7/19	69	宮下 安彦	2022/1/21
44	高木 章雄	2020/10/15	51	伊藤 有	2015/9/23	59	山田 一六	2022/1/7	70	宮坂 俊作	2021/7/7
45	田中 正義	2021/12/23	51	岩波 裕治	2020/8/13	60	岩波 黄葵	2021/5/1	71	赤羽 恒雄	2021/11/17
45	土橋 道治	2021/11/11	51	小坂 雄一	2020/11/15	60	西村 靖典	2020/7/9	71	有井 行夫	不明
45	中村 富好	2021/7/	51	小池 健司	不明	60	小平 宏	2020/6/12	71	小澤 洋一	不明
45	両角今朝芳	2020/1/17	51	永田昭七郎	2016/7/29	61	赤沼 洋	2020/11/25	71	篠原 雅秀	不明
46	小松 健彦	2021/3/22	51	水田 純一	2021/9/16	61	伊東 章宏	2016/1/20	71	千野 好昭	2019/10/31
46	宮沢 信雄	2018/10/5	52	今井 文人	2021/7/14	61	河西 健一	2021/9/24	71	名取 芳夫	2022/3/21
46	岩波 誠司	2021/9/6	52	帯川 清好	2019/2/21	61	五味 忠晴	2020/9/29	71	三橋ひさ子	不明
47	太田 瑞穂	2021/7/23	52	小島 真久	2020/12/1	61	出羽 弘明	2020/2/1	71	宮下 建	不明
47	久保龍太郎	2021/5/15	52	塩原 久	2022/3/9	62	石井 進	2019/7/8	71	百瀬 一久	2022/1/30
47	五味 益男	2021/7/28	52	茅野 欽男	2021/10/8	62	小口 倫弘	2020/12/24	72	矢嶋 紀昭	2021/12/22
47	濱 哲郎	2019/5/1	52	茅野 實	2021/9/2	62	瀬木 潔	2021/2/3	73	藤森 重一	2021/3/2
47	平出 香	2020/1/7	52	寺島 皓二	2020/6/14	62	濱 弘章	2021/8/19	74	吉川 弘	2021/5/31
47	井内 文雄	2022/2/10	52	長坂 昭彦	2021/9/18	62	宮坂 博通	2021/7/1	75	青木 信男	2021/1/8
48	網倉 宗平	2017/3/20	52	降幡 泰夫	2019/8/27	62	三好 博吉	2020/2/	76	小平 憲良	2022/3/14
48	松村三喜男	2020/11/2	52	矢崎 精一	2021/6/15	62	矢島 辰一	2021/7/12	78	五味 弘	2021/12/1
48	熊井 章	2021/12/12	55	牛山 健二	2020/7/5	63	伊藤 公博	2021/7/15	80	北原 初志	2020/8/18
48	黒沢柳太郎	不明	55	松澤 健二	2018/8/16	63	河西 康之	2022/3/26	81	川手 克夫	2021/5/1
48	小林 賢吉	2018/12/25	56	小口 勝次	2018/10/14	63	須沢 充晴	2021/10/8	83	茅野 義彦	2021/7/8
48	小松 正弘	2021/8/29	56	五味 修一	2022/5/6	63	鈴木 弘康	2021/3/	84	伊藤 克一	2021/12/25
48	関 保弘	2022/3/12	56	武居 浩明	2022/1/7	63	徳留 淳朗	2021/8/25	87	後藤 好恵	2017/6/19
48	林 五平	2019/11/4	56	津金 真	2020/5/16	63	日向 明房	2021/6/	88	百瀬 勝利	2021/12/3
48	吉澤 正行	2021/9/18	56	坂本 開市	2022/1/4	64	岩井 眞明	2021/5/	97	佐藤 健治	2020/9/9
49	今井 千浩	2021/7/2	56	新村 敦	2021/5/3	64	加々見輝人	2019/11/8	118	笠井 進	2021/6/24
49	奥村 知己	2021/3/3	56	平林 信之	2021/9/18	64	藤森 弘	2019/1/3	120	花岡 優	2022/1/21
49	小沢 裕	2020/11/18	56	実村 明男	2020/7/22	65	進藤 瑞穂	2022/1/29			

事務局だより

- ◎今年度の本部及び支部の幹事会・総会は、コロナウイルス感染防止のため、書面・ネット・メール等での会議になってしまい、各種行事も中止せざるを得ない状況になりまして、非常に残念でした。会合を持つ場合には、三密「密閉・密集・密接」を避けながら、マスクを着用し、飲食を避け、短時間に行う事とし、電話やネットを最大限活用していただきたいと思います。
- ◎各支部の総会が開かれないうち、昨年に引き続き今年度も、支部の財政状況も逼迫していることから、各支部へ「支部活動助成金」を、お振り込み致しました。
- ◎本校教員として長年勤務して戴いた熊井章様(48回生)、武居浩明様(56回生)の両名の方が、今年度ご逝去されました。心

よりご冥福をお祈り申し上げます。尚、熊井様のご遺族の方より遺志金として、1,100,000円をいただきました。同窓会の一般会計へ入れさせて頂き、有効活用したいと思います。又、武居浩明様には、同窓会事務局を十数年にわたり務めていただき、ありがとうございました。

◎同窓会ホームページで、過去の「同窓会報」(No.1～No.47)が見られるようになりました。

事務局

TEL/FAX : 0266-58-0356

E-mail : dousoukai@suwaseiryjo.jp

ホームページ : <https://www.suwaseiryjo.jp/>

事務局長：矢澤博(69回) 月・木(10:00-16:00) 原則勤務
携帯電話：090-3312-1469

編集後記

想像もしていなかった新型コロナ禍が2年余りも続き、さらに今年に入ってロシアがウクライナに侵攻するなど、混沌とした世界の情勢。そのような人類が経験したことのないような時代を受け、今年は「ひととはなにか」をテーマに掲げました。大上段に構えたテーマに見えますが、自分たちが若き日を経たかたがえのない「清陵」という場で、学業はもちろん、日々の生活の中、同級生や先輩・後輩、先生方と語り、自らの心に従って生きることを悟り、そうして培われた魂を胸にこれまでの人生を歩んできた……それを忌憚なく語ってもらうことが、そのまま「ひととはなにか」を論じることに通じていると思います。

つらく厳しい日々が続く現在ですが、この会報を手にとられた同窓生のみならず、少しでも前向きな気持ちになっていただければ幸いです。そして、きっと明るくあつた時代に向けて、世代を超えたつながりを作り、新たな未来を築いていく礎が生まれたらうれしく思います。

お忙しい中、原稿をお寄せくださったみなさま、広告主のみなさま、矢澤事務局長をはじめ同窓会事務局の先輩方、実際の制作をお願いしたヤジマプリント様、そして幅広く協力してくれた89回生に厚く御礼申し上げます。

(編集担当：89回生 小口稔、宮坂賢一、両角はるか、吉中宏子)

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第48号 発行：諏訪清陵高校同窓会 発行人：同窓会長 中村 博 編集担当：第89回生(昭和58年入学)
同窓会事務局：〒392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL: 0266-58-0356

なとひと
にはと
にか

みえないものをみるために

写真でも動画でもい。誰かに自分を撮影してもらい、それを見たとき、違和感を感じないだろうか。自分ではないような違和感だ。いつも鏡で見て「私」ではないし、いつも聞かされている「私」の声でもない。その映像の姿が「私」だといふなら、それほどまじかに私たちが「私」のことがみえていない。ひととはなにか―その問いはみえない「私」をみようと試みかもしれない。

2022年度定期総会のご案内

総会・懇親会

中止

未だコロナ禍という状況下であり、第7波といわれる感染拡大も心配される中、総合的に判断し、総会・懇親会を中止することといたしました。総会での決議事項については、幹事会での書面決議とさせていただきます。本会報に記載の議案にご意見のある方は、諏訪清陵高校同窓会までお知らせください。

講演会・談話会

オンライン開催

日時：6月25日(土) 14:00～16:30
テーマ：ひととはなにか

オンライン講演会・談話会を開催いたします。参加をご希望の方は6月24日(金)までにお名前、回生、お住まいの市区町村をご記入の上、下記メールアドレスにてお申し込みください。お申し込みいただいた方には後日、接続方法などをメールにてお伝えいたします。
seiryodousou89@gmail.com

幹事：89回生 次年度幹事：90回生 サブ幹事：99回生・109回生

表紙デザイン・写真：89回生・大久保圭二(okdesign)



～コロナ危機が我々に求めるもの～

同窓会長 中村 博 (72 回生)

会員の皆様方には、日頃から母校の発展に対しまして、深いご理解とご支援をいただいておりますことを心より御礼申し上げます。

昨年後半、コロナの感染者数が大幅に減少し、今年こそは、新型コロナウイルスの感染が収束し、日常を取り戻せるのではとの期待を抱いて迎えた新しい年でしたが、残念です。

年明けとともにオミクロン株が猛威を奮い始め、第5波を上回る大変な勢いで感染が広まりました。ここへきてようやく感染拡大が落ち着いてきましたが、まだまだ日常を取り戻すには時間がかかりそうです。

学校、同窓会始め全ての生活において、変則な対応を余儀なくされ足掛け3年になります。

同窓会も例年6月に行っている定期総会について、昨年6月は新型コロナウイルスの感染拡大で、通常ですと中止すべきところでしたが、一昨年に続き2年連続中止ということになりますと「同窓会としての結束」、「会員相互間の繋がり」が希薄になってしまうのではないかと心配し、学年幹事の88回生に知恵を絞っていただき、オンラインイベントという形式を取り入れ総会を開催しました。

新しい試みでしたが、幹事さんに頑張っていたが、大変好評でした。

オンラインならではですが、今まで参加出来なかった海外からも米国はニューヨークとシカゴ、そして中国、東南アジアなどからも参加いただき、今までにない国際色豊かな総会になりました。

今年どうなるかは、コロナ次第ですが、今の状況を見ると従来形式の総会は難しいように思われます。現在昨年のようなオンラインイベント形式を取り入れた総会を行う方向で学年幹事の皆さんを中心に検討を進めていただいております。どのような形で、大勢の皆さんの参加を期待しております。

今年は昨年末からのコロナ収束の期待が年初からのオミクロン株の猛威により、吹き飛ばされ、再び先行きが見通せない状況に戻ってしまいました。

またかと言った思いが強い訳ですが、そもそも人類にと

ってウイルスとは「感染症のゆりかご」みたいなものです。突然発生したり、消えたりして、常に感染症に脅かされる人類は弱い存在なのです。ですから、新型コロナウイルスと敵対するのではなく、ウイルスと共生し「生命の尊厳を育む」新しい価値観を創造することが求められているのではないのでしょうか。

そして、コロナウイルスのパンデミックにより、「人間の行動」は、その支柱である「移動」、「集合」、「対話」という三つの基本的な行動が大きな制約と変貌を強いられっていますが、それが人類に新たな自覚と良識ある行動を促しているようにも思われます。

かのポール・ゴーギャンの残した精神的遺言ではないですが、「我々はどこから来たのか、我々は何者なのか、我々はどこへ行くのか」を問い直し、自然界における人類の立ち位置を考え直す時が来ているように思われます。

この人類を襲ったコロナによるパンデミック、そして猛威を奮い始めた気候変動、AI（人工知能）などテクノロジーの急激な進化により、これまでの常識が一瞬で過去のものになってしまう時代に突入しております。国家、社会、経済のあらゆる分野で既存の枠組みで軋みが始まっているのではないのでしょうか。

このような先行きの見えない、正解のない時代を生き抜いていくには一人一人が自分の頭でとことん考え抜き、あるべき姿について最適解を求める力が求められていると思われれます。

そして現在教育も今までのような記憶力に頼った偏差値教育から、考える力を育てていく方向に大きく舵が切れ、今年から大学入学共通テストが始まりました。

そのような中、軌道に乗り始めた清陵の中高一貫教育が実を結び、大きく花開き、新しい時代を切り開いていける人材を一人でも多く輩出されることを願っております。

引き続き同窓会としても支援して参りたいと考えておりますので、皆さんのご協力よろしくお願いいたします。

最後に会員の皆様方の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。



ご挨拶

校長 小口 雄策

同窓会長の中村博様はじめ同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校発展のため、物心両面にわたって多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年度に引き続き、令和4年度も諏訪清陵高等学校ならびに附属中学校の校長を務めさせていただくことになりました。本校の更なる充実と発展のため、誠に微力ではありますが、本校88回生としての責任のもと、着実に歩みを進めてまいりたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染予防に気を遣いながらの教育活動も3年目を迎えてしまいました。今では日常となったマスク着用により、生徒と教員、互いの表情が見えにくく、このような状況下での学校生活はとても残念ではありますが、本校においては、おかげさまで集団感染が発生することもなく、何とか通常に近い状態で教育活動を実施することができております。コロナに係るこの2年間で本校のICT環境整備は格段に進捗し、BYOD化(Bring Your Own Device: 個人が所有する端末を使用した授業)を進めることもできました。生徒が持つタブレット端末については、オンライン授業ばかりでなく、通常授業においても積極的な活用が始まっています。

また、令和3年度末で終了予定であったスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の第4期指定(5年間)は、令和5年度末まで2年間の指定延長となりました。今年度の新入生から実施される新学習指導要領では、どの教科、どの科目においても「探究をすること」が大切に扱われています。延長された指定期間をより有効に活用し、その取り組みにおいて探究力、プレゼンテーション能力の育成に引き続き注力し、すべての学習活動における「探究的な学び」を実現させたいと考えております。

今年度、同窓会の母校連携事業の取り組みとして、大学で教授等を務める本校88回生等を講師に迎えた模擬講義、各界でご活躍されている同窓生によるキャリア講演会等をオンラインで計画していただいております。これらの企画を通して、生徒たちの学びのモチベーションに火をつけていただけることを大変楽しみにしております。

最後になりますが、少子化に対応し、未来の子供たちのためにどのような高校が必要であるかに焦点を当て、現在、県立高校の再編・整備計画が進められております。諏訪地区については、今後公表される3次計画に盛り込まれる予定であり、その内容については、同窓会の皆様にも情報提供をしていきたいと考えております。

同窓生の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。



学びの転換

附属中学校 副校長 丸山 剛生

清水ヶ丘を渡る風にさわやかさと命のみずみずしさが感じられる季節となりました。希望に満ちた新たな一年の始まりに身の引き締まる思いで日々を過ごしています。

この度、赤羽勲夫副校長の後任として、附属中学校の副校長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。保護者の皆様、地域の皆様、とりわけ同窓会の先輩の皆様には、平素より物心両面から本校を献身的にお支えいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により私たちの生活は大きく変わりました。

そして、これまでの学校教育のあり方も変化を余儀なくされています。当たり前のように行われてきた対面での授業が困難となる中、子どもたちの学びを止めないため、オンライン授業をはじめとしてさまざまな対策が取られてきました。この変化をいかに今後活かせるか、まずもって、生徒の安全確保と学力保障の両面に全力で努めてまいりますことをお約束申し上げますとともに、皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

そのうえで、これからの社会では、このコロナ禍でも分かるように、変化の激しい予測困難な時代にあっては、想定外の事態に遭遇した場合でも、思考を止めることなく、自ら考え、判断し、試行錯誤していくことが必要です。まさに、探究を中心とした学習の重要性は今後ますます高まっていくと思われれます。

そのために、一人一人が自分の課題や目的に応じて、様々な情報を収集、整理、分析したり、皆が納得する答えを導き出したりする学びに転換していかなくてはなりません。そして、私たちは、子どもたちが、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の作り手となれるような教育をしていかなくてはなりません。よりよい社会をつくっていくことができる人材を育てていくことが、結果的にアフターコロナの社会を生き抜いていくことにつながっていくと思われれます。

今年度も職員一同、生徒たちの学びを止めることなく教育活動を推進し、この職員集団で難局を乗り越え、生徒とともに確かな一歩一歩を刻んでまいりたいと考えております。また、そうできるものと確信しています。

同窓会の皆様におかれましては、様々な場面で生徒たちの学びを支えていただくことも多いと思います。本校の教育活動に対しまして、引き続き温かなご支援とご指導、ご鞭撻をいただきますよう、お願いいたします。

眞澄



MASUMI
SUIWA 1642

七号酵母へ原点回帰

調和のとれた味わいで食卓に集う人々の心を結びたい

そんな想いで、酒造りの主役である酵母を七号系自社株(1946年に諏訪蔵で発見された親株から選抜を重ねた優良酵母)へ回帰させるプロジェクトを進めています。



七号酵母発祥蔵元

宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16
TEL: 0266-52-6161 FAX: 0266-53-4477

眞澄ホームページ

特集

ひととは
なにが

Part 1

特集
ひととは
なにが地元を
飛び出した
同窓生

新型コロナ禍は、人口減少に伴う経済活動の縮小を加速させた。そこにウクライナ危機が重なり、誰もが先を見通せない不安に直面している。この閉塞感を打ち破るには、常識にとらわれない発想が求められる。実はその答えこそ、清陵と一緒に学んだゴタッ小僧・娘たちらしい、自由な考え方の中にあるのではない。清陵を巣立った仲間たちがひととして何を考え、どう歩んで今に至ったのか。様々な分野で活躍する仲間たちの「ひととしての成長」を考える中から、未来を切り開く発想のヒントを探ろう。

海外に出て分かった 一度きりの人生を楽しむ発想

宮原 陽一

(89 回生)

米テキサス州立大学物理学科 助教授



日本を離れてちょうど25年がたちます。最初の5年間はスイス、次の16年半をカナダで過ごし、2019年からはテキサス州オースティン市近郊にあるテキサス州立大学の物理学科で、テニユアトラック（終身在任権を持つ教員を目指す人事制度）の助教授として実験物理の研究室を主宰しています。研究内容は、走査型プローブ顕微鏡を用いたナノスケールでの物質の測定および測定技術の開発です。特に量子コンピュータの計算結果の読み出しに必要な単一電子の電荷検出を、微小な機械的振動子を用いて可能にする研究に力を入れています。

「海外」は遠い夢だった

私は小学生の頃から電子工学に興味を持ち、電子工作やアマチュア無線などを趣味としていました。清陵に入学してから、担任の小野野士先生の影響を受けて物理学の研究への道を志すこととなりました。身近に研究者などおらず、大学での研究についての知識は皆無でした。当時小野先生と物理研究室で交わした会話から大きな刺激を受けたことが、今の私につながる第一歩となったのです。

清陵卒業後は博士課程まで早稲田大学で過ごしました。私が学部生として研究室に入った頃は、1987年にノーベル賞を受賞した高温超伝導のブームの直後で、物理の世界は世界各地から報告される新発見で沸いていました。そのような雰囲気の中、将来海外で仕事をしてみたいという漠然とした夢は持ちましたが、インターネットもまだ普及していない時代で、それまで海外に縁が無かった私には単なる夢にすぎませんでした。

このような私が国際学会での出会いをきっかけに、スイス連邦工科大学ローザンヌ校（EPFL）で研究する機会に恵まれました。スイスは走査型プローブ顕微

鏡（1986年ノーベル賞）の生まれた地であり、その地で装置の開発を腰を据えて一から学ぶことができたのは幸運でした。キャンパスはレマン湖畔にありモンブランも遠くに眺めることのできる美しい地で、諏訪の地形とよく似ています。

スイスではその多言語環境に驚きました。ローザンヌはフランス語圏にありますが、学生教員共に世界中から集まり、大学ではドイツ語、フランス語、英語、イタリア語などが飛び交っていました。当時の私は英語もフランス語もあまりできず、最初は本当に苦労しました。

次に驚いたのがキャリアパスの多様性です。EPFLでは精密工学科に所属しましたが、3年間の研究プロジェクトに、企業を辞めて参加する中堅の研究者がいたり、大学院生もその多くが一度企業に就職した後にまた大学に戻ったりが当たり前という状況を知り、これだと目を見開かれました。一度きりの人生、色々な場所で仕事をしたり、生活したりしたほうが楽しいのではないかと確信を持ちました。

3年たってフランス語で学生を指導できるようになりましたが、それと共にまた新しい場所で挑戦したいという気持ちが湧いてきました。次に選んだのはカナダのマギル大学でした。

一度きりの人生、選択肢は多く

マギル大学のある街、モントリオールはフランス語と英語のバイリンガル都市で、世界各地から移民が集まっており、人々も社会制度も新しく来た人に優しく、私たちもすぐになじむことができました。

特にモントリオールのあるケベック州は、子育て支援が手厚く（格安の保育園や子ども手当など）、2人の子供に恵まれた私たちはその恩恵に預かることとなりました。

仕事では研究員として、学生たちと1日のほとんどの時間を実験室で過ごすことができました。学生も教員もお互いにファーストネームで呼び合うフラットな人間関係は率直な意見の交換ができ、科学研究にとってとても大事だということを感じました。

生活環境の良さのおかげでモントリオールでの生活は長くなりましたが、50歳を目前にして自分の研究室を持つ夢を実現するために動き出しました。

2年あまりの仕事探しの末、現在の仕事に就くことができました。テニユアトラックは、6年の試用期間の後、審査を経てテニユア（終身在任権）を得られる制度のことです。テニユアを取れば定年は無く、いつまでも仕事を続けることができます。50歳を過ぎての研究室の立ち上げは少し遅くはありますが、大学と国からの多額の研究資金により順調に進んでいます。年齢・国籍を問わずに人材を集める米国の懐の深さに感謝をしています。

これまでの海外生活で実感するのは、日本で得た博士号の価値の高さです。近年日本では博士の就職難から博士課程への進学が減っていますが、海外では博士号は高く評価されています。そのおかげでカナダと米国では比較的容易に永住権を得ることができました。科学には国境はなく、世界に目を広げれば活躍のチャンスは必ず見つかります。研究者を目指す方は、将来のことをあまり恐れずに博士を目指してほしいと思います。

この25年間、海外でなんとかやってこれたのは、常に将来に希望を持ち続けることができたからです。そのために世界に目を向けたことは、私にとっては正解だったと思います。人生の選択肢を持ち続けることのできる社会は魅力的です。私はそうした社会の恩恵に預かることができるととても幸運でした。

特集

ひととは
なにが地元を
飛び出した
同窓生

改めて「視論～正視と対論～」

塚田 智紀

(89 回生)

長野県中信教育事務所主幹指導主事



昨年11月、久しぶりに母校を訪れた。5年前に長野市立長野高校の併設型中高一貫校として開校した市立長野中の副校長として、「長野県公立中高一貫校連絡協議会」に参加するため。現校舎から見下す校庭に、3年間過ごしたオンボロ校舎が浮かび上がって見えた。

そして、改めて「清陵36号」を見返した。自分が寄稿した巻頭言「視論」「昭和も50年代に終わりを告げ、社会に国際化と情報化の急速な波が押し寄せる中で60年代が幕を開けた。…まず、腰を据えて物事を「正視」してみよう。…「正視」の過程で自己に芽生えた主張は、「対論」へと繋がる。…我々は、謙虚に自己を見つめ、人間との当たりを大切にすべきだ。まさに、「自反而縮雖千萬人吾往矣」である。」「視論」「正視」「対論」は造語で、「当たり」は、柔道の先生の口癖だった。生意気なことを書いたものだが、永年経っても自分のスタンスは変わらない。社会には、あの頃とはレベルが違う国際化と情報化の波が押し寄せ、自然災害と感染症の脅威、国際紛争の影響も降り合わせの昨今である。その中で、「ひと」はどう生きていくか？「ひと」とはなにか？を考えさせられる。

教育現場と行政で様々な経験

私は、高校卒業後に教育学部を経て4つの小学校に勤務した。下諏訪北小では、学校御柱を経験した。芹田小で交流した長野オリンピックのカナダ選手団は、優しく紳士的だった。長野県庁で、渋谷先生と矢島富士雄先生に再会した。三本柳小は、旧ユーゴ紛争の当事国ボスニア・ヘルツェゴビナと交流していた。地雷撤去の模擬作業体験や募金活動、平和コンサート開催等で地雷廃絶運動に参加した。



長野オリンピックでカナダ選手と交流

豊野西小では、初任者の研修指導教員を務め、県北方領土問題教育者会議代表で色丹島を訪問し、現地の方と対話した（が壁は厚かった）。社会科教育の研究を続け、県総合教育センター等で租税教育や環境教育等の実践発表をした。その後、長野市教育委員会指導主事として学力向上や学校安全、キャリア教育等を担当した。

6年目に主任指導主事に昇任し、市立長野中開校準備に奔走する中、市立長野高校に出向いたら、祿津（牧野内）先生と書道の上島先生が在職していて、清陵の話に花が咲いた。つくば市の教員研修センターで全国の教職員と交流し、中学生引率のフロリダ訪問で、ヤンキースの松井に声を掛けたら手を振って応えてくれた。市教委を出て、北信地区最大の中野小教頭を2年、市立長野中副校長を3年務めた。東日本台風とコロナ対応に明け暮れた副校長職であったが、おかげで母校を訪れる機会を得た。母校には各界で活躍する同窓生の写真と業績が掲示されていて見入った。体育研究室に同級の上條先生がいて談笑した。

現場を変える発想の源は清陵

話は変わる。教育現場では今「GIGAスクール構想の推進」が課題だ。市立長野中は、オンライン環境を整備し、Microsoft Teams を利用した情報共有や共同編集等を学習に取り入れている。先日、長野県立大学の学生が、1人1台端末の授業を見て目を丸くしていた。昨年「紙のしおりを持たない修学旅行」を実現した。クラウド上にデータを保存し、端末から情報を得て、端末に東北地方の震災学習や行動を記録する。報告はTeamsの投稿で、困った時はチャットで解決する。随行した旅行社支店長は、先進的な取り組みに驚いていた。

振り返ると、教員人生で考え、行動したこと源は、やはり「清陵」にあった。ベースには、5部担任の小野先生の姿が



北方領土の色丹島を訪問したとき

ある。常に新書を持ち歩き、生徒に声をかけ研究室で自由に議論を交わす。学友会では、県西部地震で被害が出た王滝村支援に相当額の募金を集めた。校舎改築対策特別委員会を設置し、仮設部室棟の設置を学校にお願いした。

改築中のクラスマッチは、7部中込君の「下諏訪なら全部できる」の助言で別会場開催とした。こうした清陵での数々の経験が、教育の場から物事を視て（正視）時代と社会の変化に他者と協働して対応（対論）する際に、大きく影響していることに気づく。

テーマに戻れば、「ひと」は、ひと同士の関わり合いで、経験値を高め速く成長し、「人」としての自覚を得て、社会で力を発揮していく。清陵には、「教育」の場として、「ひと」が「逞しさを身に付けた人」となるために必要な強烈な個性と多様性、先進性があった。4月からは、県中信教育事務所の主幹指導主事の職に就いている。南アルプスがきれに見える庁舎から、母校清陵に思いを馳せる。また、機会を得て同窓生と「視論」を交わし合いたいと思っている。

特集
ひととは
なにが地元を
飛び出した
同窓生

ちょっとだけ違う道

私は今、「ヒトとは何か」を研究する京都大学「ヒト行動進化研究センター」で仕事をしている。この組織は、我々89回生と同じ1967年に生まれた「霊長類研究所」が22年4月に再編されたものだ。

「京都大学で研究職に就きたい」という、清陵生の時から持っていた希望はなかったが、ここに至るまでいくつかの転機があった。

京大は今年創立125年、清陵は127年ということで、それぞれの先輩、後輩にこの文章を読んでいただくことになるが、おこがましいことは申し上げず、事実だけをつづっていききたい。

ヒトの進化は変異の積み重ね

ヒトとは何か？ まず、生物学的にヒトとは、狭義にはホモ・サピエンスを指す。600万～700万年前にチンパンジーと共通の祖先から違う道を歩き始めた広義のヒトの一部である。諸先輩がアフリカに留まる中、ホモ・サピエンスの中から約10万年前にアフリカを出るものが現れ、世界各地に生息域を広げた。チンパンジーなどと同じようにアフリカの熱帯雨林に留まっていたら、今日の我々の繁栄はなかっただろう。

遺伝的にヒトのDNAの99%はチンパンジーと共通だ。1%の違いがヒトを生み出しているのかもしれないが、もしかすると我々の祖先が熱帯雨林に留まっていたら、立場は違っていたのかもしれない。遺伝子がヒトを生み出したのか、環境がヒトを生み出したのか、どちらなのだろうと考えてしまう。

そもそも進化とは、DNAの変異が積み重なって起こる。変異は偶然の積み重ねで、変異により環境に適応したものだけが生き残るといのが現代の進化論である。



我々の研究分野ではヒトに特異的な遺伝子や、ヒトだけで働いている仕組みを探し続けているが、主要因は見つかっていない。むしろ、小さな違いの積み重ねがヒトの特徴を生み出しているのだろうと考えられる。つまり、もし遺伝子の違いがヒトとチンパンジーの違いを生み出しているとしても、ちょっとした違いの積み重ねなのだ。

ヒトの祖先の中から、東へと進み、日本列島に到達する集団が現れた、現在では、日本人の由来は複数回にわたってユーラシア大陸から到達した集団にあると判明している。いわゆる縄文人、弥生人ほか、アフリカを出たあとにそれぞれ違った道をたどった集団である。それぞれの通ってきた環境によって、多少の遺伝子や時期の違いはあるが、もとは同じアフリカから出てきた親戚である。

うちの父は岡谷北部、母は上諏訪の出身であるが、顔つきは父が縄文系、母が弥生系といわれる。アフリカから出たあと、数万から数千年の違う道をたどって、諏訪に定着した集団の子孫のうち、120年あまりの間に入れ替わり同じ校舎で学んだ者の集団が清陵生なのだろう。

私の半生もちょっとした違いの積み上げといえる。高校時代、私はバレー部に入った。中学時代はレギュラーにもなれず、運動神経もあまり良くなかったが、バレー部ではいろいろなことを学んだ。今でも心に残っているのは「諦めない心」と「ちょっとだけ違う」ことである。一人でレシーブを続ける「ワンマン練習」では、先輩や先生が走っても手の届かないところでボールを投げる。我々は体育館でも屋外コートでも、その落下点に向けて必死で走り、手を伸ばす。追わないと次のボールは投げられない。10回、ボールを拾わないとワンマンは終わらない。とにかくボールを追って、走って、手を伸ばした。不思議なもので、絶対に届かないようなボールに、間に合うと思って走り込んだら指先が届いたことがあった。

清陵バレー部の学びが今に生きる

清陵バレー部は、平均身長は低かったが、強かった。岡谷北部中時代は南信大会や県大会などまったく考えられなかつ

たが、なぜか清陵バレー部は南信大会の上位となり、県大会や北信越大会にも進んだ。当時は岡谷工業高校が飛び抜けて強く、練習試合では歯が立たなかった。それでも何度か練習試合を重ねるうち、相手の顔も覚え、特徴もわかってきた。そのうちに、大会では時々良い試合ができるようになった。他校との試合でも、どんなに身長が高い相手でも、同じ高校生だと思おうと対等に戦えた。

夏の県大会が終わった後、受験勉強が始まった。最初の模試ではすべて「D判定」以下だった。一度だけ成績上位者に名前が載り、それが縁で名古屋の河合塾に進んだ。現役のときの京大受験は惨敗で、とても受かる気がしなかった。河合塾で寮に入ると、周囲は東海地方の進学校出身者ばかりだった。読む本や話す内容のレベルも高く、とてもかなわないと思ったが、話しているうちにやはり同じ浪人生だと思えるようになった。岡工との対戦のときと同じである。二度目の京大入試は、自信を持って合格した。

京大理学部に入ると、クラスの仲間が関西の進学校出身で、さらにまぶしく見えた。研究室でも先輩や後輩は優秀に思えた。学部の卒業時には就活をしたが、やり残したことがあった気がして、大学院に残り、視覚の研究をはじめた。当時、世界でも一流の研究室であったため、国際的な人脈も広がり、一流誌にも論文を出すことができた。ところが米国の研究室の研究レベルを知ると、このままでは勝てないと思った。そこで2005年に視覚の研究室を飛び出し、霊長類研究所で味覚の進化の研究室を立ち上げた。この仕事で認められてNHKなど仕事をしているうちに、食べ物共有する、情報を共有することがヒトの進化の特徴だと気づかされた。

ここまで見たように、私の今の立場は、他の人とちょっとだけ違う道を選んできた結果かもしれない。清陵同窓会は、仲間同士がそれぞれの道程を共有し、先輩から後輩へとエールを送るのに適した場所だと思っている。先輩方には大いに語っていただき、後輩たちはぜひそれを読み、聞き、自分ならではの道を進む参考にさせていただきたい。

今井 啓雄
(89回生)

京都大学ヒト行動進化研究センター教授

特集
ひととは
なにが地元で
活躍する
同窓生

Part 2

清陵を卒業した後、諏訪に残ったり、再び諏訪に戻ったりして、地元で活躍する仲間たちも多い。特集Part 2では、東京などに出た後で諏訪に戻り地元の価値を再発見したり、家業を発展させようと新たな一歩を踏み出した仲間のひととしての成長を見ていこう。

家業の安定目指した
飲食店開業から 20 年

林 伸一・美奈 (旧姓・征矢)

(89回生)

下諏訪町・うなぎ林屋経営



私と妻は清陵高校に入ってから、端艇部に入部して知り合いました。それまで端艇部に女子部員はおらず、妻の美奈を含め5人が初めての女子部員ということでした。端艇部も他の部活と同様に自分たちで運営しており、たまにコーチ役のOBが来て思い通りの指導をする程度でした。今思えば「よくやってたなあ」と思いますが、所詮自分たちで考える練習内容です。他校と比較すると甘かったのでしょう。弱かったです。女子は部員の減少から、妻はシングルスカルという1人乗りのボートで大会に臨みました。高校3年の時、男子は予選敗退。妻がインターハイへ出場することに。情けない男子を横目に持ち前のガッツで努力を重ねた結果でした。そんな妻は、艇庫の奥で壊れていたシングルスカルのボートをこどもあろうか、その年の清陵祭のファイヤーストームに突き刺し一緒に燃やしてしまったのです。もう使えないから燃やしたのですが、実はそのボート、長野県の所有物でした。妻も悪気は無かったからかんとしたからでしょうか。顧問の柳沢均先生からは何のおとがめもありませんでした。

在校中、校内の廊下に「徴文」が貼り出されたことをよく覚えています。「清陵男子校論」という題だったと思います。それを見た私は「端艇部は女子の方が活躍しているし、清陵に不要なのは自分を含め情けない男子たちではないのか？」と思ったものでした。「徴文」を張り出した仲間は高い熱量をもって「悪い」をカタチにしていますが、私に彼らのような行動力は無く、ただそれを眺めていただけ。清陵の「清陵っいいところ」があまり好きではなかったけれど、でもどこかで彼らの率直さがうらやましいと感じました。

高校卒業後、私たちはそれぞれの道を歩きました。くっつき離れたりを経て結婚。私は会社を辞めて家業を継ぐことにしました。家業は明治創業の老舗川魚店です。店舗販売よりもホテル、大手スーパーなどへの卸売りが事業の中心でした。妻も看護師を辞めて私と共に働いてくれました。小さい頃からの夢だった看護師の職を辞してまで、私に寄り添ってくれたことに今でも感謝しています。



うなぎ林屋の外観と料理(左)

バブル崩壊後、長野県内の経済も衰退し、店を取り巻く環境は一層厳しくなりました。そこで痛感したのは薄利多売の事業モデルを持つ卸売業の怖さです。自社の業績が商品を納める他社の業績によって大きく左右される状況から抜け出したいという思いと、焼きたての美味しい鰻(うなぎ)を食べてもらいたいという思いから川魚を売る店の横で飲食店を開業する決心をしました。色々な鰻屋を食べ歩き、ライバルの現状を把握し、様々なアドバイスを受けながら開業にこぎつけました。

2003年の開業から業績は順調に伸びましたが、近年は鰻の稚魚(シラス)の不漁が続いて仕入れ価格が高騰し、利益が不安定であることに頭を悩ませてきました。

創業20年で生まれた人の縁

そしてこのコロナ禍。飲食店にとっては逆風も逆風ですが、そんな中でも前向きに、企業努力を怠らないよう努めています。ありがたいことに政府などによる様々な支援策のおかげで事業を継続できています。20年近く営業していると、お子様ランチを食べていたお子さんが、初任給でご両親を食事に招待するようになり、亡くなったお父さんがこの店を好きだったからここで法事をしたいというお話があったりするようにになりました。私の店が、たくさんの人の思い出の場所として残ったとしたら、本当にうれしいかぎりです。

実は、昨年開催された東京五輪の聖火リレーで、妻が諏訪地区最終走者として諏訪湖周、約200メートルを走りました。コロナ禍で賛否両論があった聖火リレーで走ることになり悩んでいましたが、妻は走ることを決断。両親、恩師、仲間、常連のお客まで応援に来てくれました。私の友人の1人が「コロナウィルスの拡大で仕事も減り、鬱々としていたけど、見ていて元気になった、ありがとう」と言ってくれました。妻は聖火ランナーに応募した時に、「平凡な人がランナーに選ばれるわけがない」と言っていて、自分が選ばれることなど微塵も想像していませんでした。まして、走ったことで友人にお礼を言われるなど夢にも思っていなかったものですから、春の幸せな出来事となりました。

2022年春、コロナ禍はいまだ収束の兆しが見えません。それでも桜は咲き、新しい芽吹きがあり、嫌でも時間は進みます。悩みもあります。思うようにならないことも多いです。体力も視力も落ちました。でも気持ちはまだまだ若くあります。四六時中妻と顔を突き合わせているとつまらないことでケンカしますが、何気ないことで笑っていられます。夫婦揃って、夫婦揃って。仕事や日々の生活に追われながらも、私たちが私たちに人生を楽しんでいます。



東京五輪聖火リレー

特集
ひととは
なにが
なにか

地元で
活躍する
同窓生

シルクの記憶を継ぐ者として

高橋 栄子
(89 回生)

株式会社 宮坂製糸所 役員



諏訪二葉高校から坂を少し下ったあたりに、群馬県の富岡製糸場に先駆けて明治5年(1872年)全国で3番目にスタートした洋式製糸工場(伊式)があったことをご存知でしょうか。当時の豪商小野組の資本で作られた「深山田社」は、諏訪人に大きな刺激を与え、3年後に岡谷の「中山社」が伊弘折衷の「諏訪式繰糸機」を生み出すことになりました。

諏訪式繰糸機はその完成度から瞬く間に全国に普及し、日本が生糸で外貨を稼ぐことに大きく貢献しました。1980年代後半から製糸業は急激に衰退してしまいましたが、世界の絹生産現場では、現在でも未だ色あせない日本製糸業の技術力が息づいています。

博物館併設の工場が誕生

私の生家は1928年(昭和3年)創業の小さな製糸会社ですが、岡谷市内では唯一となり、2014年に岡谷製糸博物館が移転リニューアルの際、動態展示担当として博物館併設の工場となりました。折しも産業観光が盛んになり始め、また富岡製糸場が世界遺産候補になったことも追い風となり、まさかの博物館入りとなったのです。

国内の製糸会社が次々と廃業した1990年代。先代の父も工場を閉めるつもりでいたところに、他社廃業に伴い日本古来の座繰り機「上州式繰糸機」による玉糸(玉絹を混ぜて繰



諏訪式繰糸機

糸した節のある糸)生産の継承をすることになりました。自動繰糸による生産が主ではありましたが、先述の「諏訪式繰糸機」を5釜ほど維持しており手作業の生糸生産の基盤があったので対応できたように思われます。手作業による生糸の再評価の流れもあり古い木造工場に遠方から大型バスがやって来るという事が起き始めました。こうした経緯で博物館に移転しましたが、移転から8年が過ぎコロナ禍も経験すると再び新たな展開が求められていると感じます。

世界の絹消費量は増加傾向なのですが、日本においては着物離れや化学繊維との競合で漸次減少しています。そしてその消費量に占める純国産絹が1%以下となった今、国産絹の存在価値と存続させる意味を再考する時期が来ています。蚕を利用する産業「養蚕」は医療分野や化粧品、さらに遺伝子組み換え技術による新たな用途の可能性を見出しつつあります。1万年近い歴史をもつ繊維であること、また日本では国を支える産業であった絹の記憶をもとに、これからの持続可能な社会における天然繊維としての役割を、次世代により形で繋いでいきたいと思っています。

清陵に通っていた頃の自分は、木造校舎の窓際の心地よい風の中ぼんやりしていただけた気がします。しかし、県外出身の夫と共に家業を継いで以来同級生・同窓生の方々に助けられ励まされた繋がりから、同窓会女性部に参加したりこうして会誌に載せて頂く等、在学時から考えられない清陵との親近感です。これから多くの皆様のご協力を得ながら、地域密着の家業を維持していけたらと思います。

特集
ひととは
なにが
なにか

地元で
活躍する
同窓生

地元の企業で働く幸せを考える

田畑 和広
(89 回生)

伊那食品工業株式会社 研究開発部



私の働く伊那食品工業(長野県伊那市)の経営方針に「年輪経営」という考え方があります。年輪経営とは、木が毎年年輪を刻むように、そこで働く人、仕入れ先、販売先といった皆が少しでも「幸(さち)」を感じ、限りある人生を平凡だけれど、毎年少しでも成長でき、充実感にあふれたものになろうという考え方です。社員に対し数字(いわゆるノルマ)や無理な目標設定のない経営をし、急成長せず緩やかな右肩上がりの成長を目指す末広がりとなる「幸」の形です。

下諏訪町出身(黎明会)の私は、信州の自然豊かな地が好きでした。そして、伊那で農業を営む本家に後継ぎがいなかったということで大学卒業後は伊那近辺で就職をしようと考え、当時から「かてんば」で有名ではありましたが、業務用の寒天などを製造する社員200名ほどの小さな会社であった地元の伊那食品工業に就職することを決めました。

入社後は研究開発部の所属となり、研究員も少なかったことから、基礎物性試験をはじめ、原料の選定・入荷から製造・出荷・品質管理という、入口から出口までの全てをこなさなければならぬ日々が続きました。

寒天製品開発で、特許も取得

また、私は薬剤師でもあったので、医薬品原料となる日本薬局方寒天の製造管理や医薬品製造販売業の統括製造販売責任者、食品添加物をつくる際のGMP(製造・品質の管理基準)の総合管理者など製造管理も担当しました。

開発事業では特許12件と少ないですが、「寒天蜂蜜」をはじめとする数えきれないほどのかてんば商品に関わり、その開発に取り組んできました。

1991年に入社して以来、研究開発部22年、品質保証部10年の

経験を経て、最近では健康食品の錠剤を溶けやすくするスーパー崩壊剤を新たに開発し、ウェブサイトや展示会などで案内し採用が決まり始めています。

特段優秀な私ではありませんが、今の会社に入社して本当に良かったと思います。経営者の理念が全くぶれずに素晴らしく、社員思いであること、社員が皆親切であること、自分たちでプランを考えた自由な社員旅行で海外にも行き、毎年給料が上がるなど、安心して毎日楽しく仕事ができています。

今では通常の仕事以外でも会社のカレンダーや広告の写真などを任せられ、週末には農作業の合間に伊那谷の色々な所に行って撮影をするという週末を楽しんでいます。プライベートも充実してこそ幸せな社会人生活を送ることができる実感しています。

清陵卒業後、数十年たちますが、東京などで開かれる清陵89回生の同級会にはなるべく参加しています。

在学中にはあまり交流のなかった同級生が社会人になり活躍している姿を目にし、Facebookを使って情報交換することで生活や仕事への刺激を受けるようになりました。昨年は清陵祭にも参加したり、当社の展示会場にて同級生の個展のお手伝いをしたりし、生活を見直す機会にもなっています。

これから就職する若い皆さんは、地元企業に就職し、自然を楽しみながら生活する幸せも選択肢に入れてはいかがでしょうか。清陵の教育目標には「広い視野と千萬人の気概を備え」とあります。清陵を巣立った仲間たちの中から、幅広い視野を持ち、多くの分野で活躍する人が次々と出てくることを期待しています。



担当する会社カレンダー

ご宿泊・日帰り宴会
オンライン会議
企業周年事業等
各種各種承ります

HOTEL BENIYA

TEL 0266-57-1111 〒392-8577 長野県諏訪市湖岸通り2-7-21

詳しくは、 **ホテル紅や**

長野日報

地域と
歩み続けます

長野日報社

http://www.nagano-np.co.jp

長野支社・伊那支社・東京支社
諏訪湖総局・茅野総局
富士見支局
駒ヶ根支局・辰野支局

本社/〒392-8611
諏訪市高島3丁目1323-1
TEL0266-52-2000

りんご会

太田屋

松本・岡谷・諏訪・長野・佐久・伊那
諏訪市中央5723-3 Tel0266-54-3555

代表取締役社長 太田 博久 (86回生)

太田屋

太田屋グループの店舗一覧

株式会社 細川 商店

諏訪市諏訪二丁目10番4号 ☎本店 (0120) 210-613

代表取締役社長 細川 洋一 (84回)

常務取締役 細川 浩二 (86回)

好評!エリア拡大中!! 3つのサービスまとめてお得!

LCV ひかり

ひかりdeテレビ
BS4K放送にも対応
お家のどのテレビでもSTBアンテナなしでBS放送が視聴できる!

ひかりdeネット
最大1Gbps
高速でインターネットが楽しめるWi-Fi機能付き!

ひかりdeトーク
通話料がおトク!!
携帯電話のおトク割

お申込み
お問合せ

エルシーバイ株式会社

TEL 0120-123-833 (受付時間) 9:00~18:00

https://www.lcv.jp/ (本社) 〒392-8609 長野県諏訪市四賀821 TEL 0266-53-3833

税理士法人フェアコンサルティング

私達は国際税務に特化したプロフェッショナル集団です。

- 外国子会社合算税制
- 移転価格税制(文書化、事前確認(APA)、相互協議、移転価格調査対応)
- グローバル組織再編
- その他、国際税務全般に関わるコンサルティング

代表社員・税理士 細田 明 (86 回生)

世界 17 国 29 都市に有するフェアコンサルティンググループ直営拠点と共に、国際税務の課題に対応します。
* 2021年2月、海外における移転価格をはじめとする国際税務のワンストップ窓口として、シンガポールに国際税務専門家を配置しました。

日本 東京 大阪 名古屋 福岡 中国 上海 蘇州 深圳 北京 広州 台湾 台北 香港 香港 シンガポール シンガポール タイ バンコク フィリピン マニラ ベトナム ハノイ
ホーチミン インドネシア ジャカルタ マレーシア クアラルンプール インド グルガオン、チェンナイ、バンガロール メキシコ レオン オーストラリア メルボルン ドイツ ミュンヘン、デュッセルドルフ 米国 ニューヨーク、ロサンゼルス イスラエル テラビブ ニュージーランド オークランド

現役生を海外留学へ「赤羽恒雄博士記念奨学金」

—— 制度を充実すべく、同窓生の皆様も寄付へご協力を ——

71 回生有志代表 窪田昭男

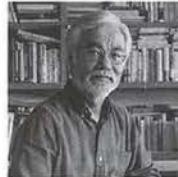
71 回生学年幹事 濱江利明

清陵 71 回生の赤羽恒雄氏は、清陵時代に留学支援団体であるアメリカン・フィールド・サービス (American Field Service, AFS) の制度を利用して米国に 1 年間留学。その経験をきっかけに、日米で国際政治について学び博士号を取得、北東アジアにおける安全保障などを中心に国際政治に関する多くの論文・著書を残しました。

赤羽氏が 2021 年 11 月に亡くなると、赤羽氏夫人であるジャネットさんは同氏の功績を顕彰すべく「赤羽恒雄博士記念奨学金」を設立したい旨を公表しました。「清陵時代に AFS のおかげでアメリカに留学できたことが僕の人生に大きな影響を与えた」と赤羽氏は繰り返し述べていました。そこで、71 回生有志とジャネットさんとで話し合い、「赤羽恒雄博士記念奨学金」を AFS を利用して清陵の現役生に海外留学してもらうための奨学金とすることにしました。この奨学金をさらに充実したものにすべく、同窓生の皆様に寄付のご協力をお願いする次第です。

赤羽恒雄(あかは・つねお)氏

1949 年長野県茅野市生まれ。清陵 71 回生。清陵時代の 1967～68 年に AFS の第 14 期生として米国に 1 年間留学する。AFS は世界各地に支部があり、長い歴史を持つ留学支援組織。AFS 留学から戻り、清陵を卒業すると赤羽氏は早稲田大学政治経済学部政治学科とオレゴン州立大学政治学部で修士号、南カリフォルニア大学で国際関係学博士号を取得。カンザス州立大学政治学科助教授などを経て、カリフォルニア州モンテレー国際大学東アジア研究所所長を務める。北東アジアにおける安全保障や日本の安全保障政策を中心に国際政治学を研究して多くの論文と著書を残し、日米で数多くの国際政治学者と交流を重ねた。



【AFS 留学で何が学べるか】

ある 71 回生の子息である S 君は、高校時代に AFS でタイに 1 年留学し、僧として出家する体験をしました。田舎を托鉢して回っている時、医者にかかることもなく死んでいく貧しい子どもにたくさん出会い、医師になって子どもたちを救いたいと決心したそうです。留学後に高校を卒業すると、米国の大学で宗教学(仏教)を学んだ後、日本の大学の医学部に編入しました。大学卒業後、小児科の専門医となった後は、独立行政法人国際協力機構(JICA)の招きでラオスに渡り、現地の母子保健医療に携わりました。その後一時帰国して小児外科専門医となった後ラオスに戻り、現在は世界保健機構(WHO)のラオス事務所現地の母子保健医療に貢献しています。S 君は事あるごとに「今の自分があるのは、AFS により高校時代にタイに留学した経験が大きい」と話しているそうです。

【奨学金追加のための寄付お願い】

我々 71 回生の有志は、赤羽氏の思いや、S 君の生き方を見て、多感な高校時代に海外留学を経験する意義を痛感しています。「赤羽恒雄博士記念奨学金」は毎年 1 人の現役清陵生を海外留学に送り出すことを 5 年間継続しようと目標を立てていますが、米国など留学費用が高い国に延べ 5 人の現役生を送り出すためには追加資金が必要です。そこで 71 回生有志は同窓生の皆さんにも広く寄付を募り、延べ 5 人以上の清陵生を AFS で米国などに送り出したいと考えております。22 年 1 月 6 日には、71 回生有志が諏訪清陵高校を訪れ、小口雄策校長、矢澤博同窓会事務局長から主旨について了承を得ました。同窓会事務局には寄付を受け付けるの銀行口座を開設いただきました。

●ゆうちょ銀行 一一八支店 普通 1652293

諏訪清陵高等学校同窓会

世界に雄飛せんとする清陵生を増やし、清陵が人材輩出の宝庫となって「理想の花を咲かせる」ために、1 人でも多くの同窓生の皆様のご賛同をいただければ幸甚に存じます。

公益財団法人 諏訪圏学校理科教育振興基金について

理事長 小口 武男 (77 回生)

事業等の報告

当基金(略称「理振」)は諏訪清陵高等学校の理科教育に関する研究を奨励援助し、その振興に寄与することを目的として発足。その後その対象を諏訪地域等の中学校へと広げ、平成 23 年 4 月 1 日「公益財団法人」として認可をうけました。

現在は、諏訪清陵高等学校の理科系クラブへの研究助成、資材助成を行うとともに、諏訪地域の中高一貫校及び中学校(17 校)に対し理科教育等の振興のための助成金の支給を実施しています。また、助成事業の成果は、毎年「理科研究収録」としてまとめ、その足跡を残しております。

昨年度(令和 3 年度)は助成事業として、高等学校に対し 1,000,000 円、中学校に対し 600,000 円の助成事業を実施いたしました。

尚、平成 26 年度より中学校に対する助成を順番制から応募制に変更し、より積極的な当基金の利用を中学校に働きかけております。

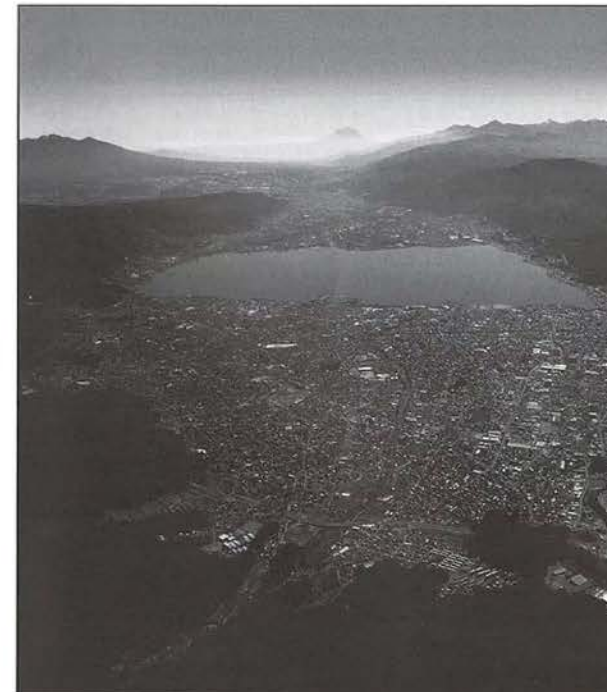
財政基盤強化のお願い

当基金はこれまで幾多の先達から賜った貴重な寄付金を「基本財産」とし、その運用益で運営してまいりました。昨今の経済状況では、高金利、高利回りは期待できず、「基本財産」の運用益だけでは十分な事業運営が難しくなっております。「基本財産」の運用益により公益事業を継続していくためには、運用財源の「基本財産」を増強することで対応するしか方法はありません。つきましては、同窓生の方々に、「諏訪地方等の理科教育」振興のためご協力をお願いする次第です。公益財団法人の許可を受けたことにより税法上、個人の場合は所得控除、法人の場合は損金算入等の特典があり、寄附をしていただき易くなっております。

詳細につきましては、以下の連絡先までお問い合わせ願います。

【連絡先】

事務局 長野県諏訪清陵高等学校内
TEL 0266-52-0201 (教頭: 吉沢規至)
FAX 0266-57-2426



 諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

2021年度 諏訪清陵高等学校同窓会 定期総会・講演会・談話会(オンライン開催)開催報告

■定期総会

幹事学年：88 回生

新型コロナウイルス感染拡大の為5月の常任幹事会・幹事会は参集せず、前年同様に書面決議を実施。

【結果】

第1号議案 2020年度会務報告、決算報告、監査報告承認の件	：原案に 賛成70、反対0
第2号議案 2021年度事業計画、予算承認の件	：原案に 賛成69、反対0、保留1 予算案支出の部 定期預金繰入⇒基本財産繰入
第3号議案 2021年度定期総会、会報発行の件	：原案に 賛成70、反対0
第4号議案 クラブ活動、母校連携事業、女性部、120周年史の件	：原案に 賛成70、反対0

・ご協力ありがとうございました。

■【オンライン開催】講演会・談話会

日 時：2021年6月26日(土) 15:00～17:30
会 場：ホテル紅や(諏訪市)をメイン会場とし、ZOOMによるオンライン開催
日 程：15:00より講演会(講師4名、ピアノ演奏、独唱「ボロボロ校舎」)、16:30より「オンライン談話会」、終了17:30

参加者：オンライン参加者：約350名

●開会挨拶 ・同窓会長：中村博雄(長野市より)、・学校長：小口雄策先生(メイン会場より)

●講演会(ピアノ演奏、独唱)：88回生(敬称略)。

総合司会：河西文子(フリーアナウンサー)メイン会場より

1. 「新しい生活様式と今後の展望」…………… 木澤義之(神戸大学 特命教授) 神戸市より
2. 「コロナ禍からオリンピックを解剖する」…………… 村山光義(慶応義塾大学 教授) 横浜市より
- *ピアノ演奏「For Suwa Seiryu High School Alumni Association」…………… 木川貴幸(ピアニスト) ニューヨークより(録画)
3. 「コロナの時代にいのちを育む」…………… 小川幸司(長野県麻南高等学校校長) 南木曾町より
4. 「コロナ禍の諏訪地域の観光現場」…………… 清水孝弘(ホテル紅や 支配人)、
矢嶋浩行(ちの観光まちづくり推進機構 事務局長) メイン会場より

*独唱「正調：ボロボロ校舎」…………… 藤森秀則(長野県諏訪実業高等学校 教諭、オペラ歌手) 諏訪市内より(録画)

・講演会については、出来るだけ異なる分野の講師を依頼し、コロナ禍におけるそれぞれの立場からのアプローチ、取組み、現状、そして今後の道筋等をお話ししました。
・ご参加くださった皆さまからはチャットやアンケート等で多くのご意見やご感想を頂戴し、同窓生が互いに刺激を受け、同時に刺激を与える機会になったのではないかと思います。
・また、講演会の合間にお送りしたピアノ演奏3曲、そして「正調ボロボロ校舎」も、ともすれば肩肘張りがちな雰囲気涼風を与え「ほっと一息」のリラックスタイムになったと感じています。

●談話会

- ・当初、私達の思惑としては「侃々諤々の、あの懐かしき談話会」を、時を越えて再現しよう！ と意気込んでおりました。思惑通りになったかどうかは別として、手探りの進行・突然のご指名にも快く応じてくださった皆さまのご協力を得て、何とかまとめることが出来ました。
- ・オンラインのチャットコメントやイベント後のアンケートを含め、ご協力ありがとうございました。
- ・ご参加、ご協力くださった皆さまに、当番学年一同感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

■オンライン開催に関する、あれこれ

・今回は、どうしても「司会進行役」が必要と考えていたので、「紅や」さんをメイン会場とし、いわゆる「ハイブリッド形式」ととなりましたが、アフターコロナを見据えて様々な開催方法を模索していただくためには、格好のモデルケースになりました。確かに懐かしい面々と会うことも、もちろん乾杯することも出来ませんが、交通費ナシで世界中から参加できる！ という可能性を示すことは出来たと思います。

- ・なかでも総合司会の河西文子は、ご指名のお声がけ語りかけ、メイン会場での様々なトラブルへの対応等、さすがの手腕を発揮しました。「あれは誰だ？」を含めて、多くのお褒めのお言葉をお寄せくださった皆さまには、あらためて感謝申し上げます。
- ・初の試みということもあり、専門業者に依頼した分の費用はかかりましたが、同窓会でZOOMアカウントを取得していただき、小規模のオンライン会議であれば同窓会アカウントでいつでも開催することが可能となりました。
- ・今後の同窓会総会に関しては益々手軽に、費用負担も幹事学年の経営負担も軽減するように、トライ&エラーを繰り返し、毎年最適となる「引出し」を増やそう、引き継いでいきたいと思います。
- ・今後は遠方からご参加も可能、かつ対面で乾杯することも出来るような方法がブラッシュアップされていくことを期待します。

最先端技術にはロマンがある

理想を追求したノイズカットトランス™

ノイズ障害防止の切り札で、近未来に先駆けるトランス型ノイズ防止素子です。



高度情報化社会のアクセス型・不連続電圧・ノイズ障害の防止に役立つ
株式会社 電研精機研究所
創業者(工博) 矢ヶ崎昭彦(47 回)

本 社：〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21 TEL 042-473-3745(代) FAX 042-474-0613
大阪営業所：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5 TEL 06-6538-1118(代) FAX 06-6538-2777
ノイズトラブルの相談 ノイズトラブルに関するご相談・調査・技術援助等を行います。URL http://www.denkenseiki.co.jp/

母校連携交流事業

「母校連携、その先へ」2021年度活動報告

■2021年度の母校連携は、コロナ禍で清陵中学の東京研修旅行は行われず職場見学は出来なかったが、その他の連携は行うことができ、新たな拡大の一歩も踏み出せた。

高校でのキャリア講演会(2017年スタート)はオンラインで開催され、講師派遣は例年通り行なった。生徒に近い世代の講師との要望もあり、新たな講師をお願いした。

No.	講師氏名・回生・職業・勤務先	仕事内容・研究内容
①	畑中 美帆(114回生) 日本製紙	研究開発・新規事業分野探索
②	大内 春菜(114回生) JR 西日本	北陸新幹線の運用
③	川村 知生(105回生) 古河電気工業	研究開発の推進
④	秀島 真奈(117回生) 三菱UFJ銀行	サステナブルファイナンス
⑤	平林 怜(115回生) 株式会社パートナーズフィナンシャル	個人法人の資産運用、資産形成
⑥	間宮 薫(107回生) KPMG あずさ監査法人	企業の財務・会計領域のコンサルティング
⑦	清水 憲司(98回生) 毎日新聞社	新聞記者
⑧	佐藤 圭一(108回生) フリーアナウンサー、気象キャスター、テレビ朝日	テレビでの気象解説、報道情報番組でのリポート、司会、実況
⑨	藤森 賢也(94回生) 京都大学産官学連携本部知的財産部	大学の研究者が行った研究成果を産業界へ橋渡しする仕事
⑩	帯川 恵輔(118回生) 秩父新電力株式会社	電力調達および需給管理担当

10人の講師(上表)の話聞いた生徒がくみ取った一言を紹介すると、

- ① 畑中美帆さん(日本製紙)必要な時「No」を言える人材こそが重要。諏訪を出てもその土地に染まりすぎず清陵らしさを大切にしていきたい。
- ② 大内春菜さん(JR 西日本)しっかりとした進路が決まっていなくても一生懸命勉強(大学でのいくつかのプロジェクトに参加)しておけば選べる進路が広がる。
- ③ 川村知生さん(古川電工株式会社)多様性を受け入れれば壁がなくなり利害を一致させればお互いwin winになる。
- ④ 秀島真奈さん(三菱UFJ銀行)海外に行くのは学生のうちにやっておく自分の進路に生かすことができる。現地で実際に文化を体験するのが大事。
- ⑤ 平林怜さん(金融業)個人として顧客に親身に寄り添うことであり、そのようなことを続けて行った結果本当の信頼関係を築ける。
- ⑥ 間宮薫さん(KPMG あずさ監査法人)本を読んだり調べたりして様々な知識を頭に入れ、やりたいことを見つけた。
- ⑦ 清水憲司さん(毎日新聞社)キャリアは好きなことや興味のあることをやる
- ⑧ 佐藤圭一さん(アナウンサー)夢を追い続けられるかどうか自分と向き合えるかどうか。チャレンジの数だけ成長することができる。
- ⑨ 藤森賢也さん(京都大学産官学連携本部)大学の研究成果を産業界につなぐ、大学の研究成果を特許産企業

に渡して収入を得るのは社会の役にたつ。

- ⑩ 帯川恵輔さん(秩父新電力)途中から道を変えることもできるし休学とか自分のために自分の時間をどう使うか選べる。

キャリア講演会担当の阿部先生からは、「生徒にわかりやすいスライドを用意していただき、海外からも講演をいただけるなどオンラインならではの講演の在り方を探るという点では今年度の取り組みは一定の評価ができる。社会で活躍されている同窓生の講演は生徒のモチベーションのアップにもつながる」

■オンライン模擬講義：また、当番幹事88回生の発案で、同期の小口校長とも連携して、コロナ禍で生徒がオープンキャンパスなど、生の大学を知る機会がなくなったことから、同期教授陣による模擬講義をオンラインで高2生向けに行った。アーカイブなどオンライン開催の利点であり、継続開催していきたい。清陵祭での同窓会の部屋は2019年度に続き2度目の開設で、生徒との交流の機会となった。

講師名	講義タイトル
日本大学文理学部化学科 藤森 裕基先生(88回生)	科学で考える、手作りチョコレートはなぜ美味しいのか
神戸大学医学部 木澤 義之先生(88回生)	重い病を持つ人をどう支えたらよいのか？
獨協大学国際教養学部 野澤 聡先生(88回生)	「文系と理系」のこれまでとこれからを考える
慶應義塾大学体育研究所 村山 光義先生(88回生)	体育学講義：スポーツ進化論スポーツとは何か
神戸大学大学院理学研究科 青沼 仁志先生(88回生)	昆虫が超高速運動を生み出すからくり
同志社大学文学部 藤森 寛先生(89回生)	「実践理性の能力について——実践理性の三つの使用法と実践的問いの三つの主題——」
日本福祉大学福祉経営学部 藤森 克彦先生(87回生)	家族の支え合いが弱まる中で、新しい「支え合い」のカタチを考える——人暮らしの増加を中心に——

当番幹事の前年の54歳学年(89回生)に担ってもらったことで、翌年の当番幹事にも向けた同期結束の機会になっている。

■人材バンク：同窓会の存在意義の一つに、母校支援があり、多様な分野で多彩に活躍する同窓生の存在は誇り、励みであり、同窓会の魅力となっている。講師、職場見学が協力をいただいた同窓生をリスト化している。併せて、当番幹事と50歳、45歳を迎える学年に「同期自慢」として、活躍/ユニークな同期を紹介する活動をスタートした。これを毎年順送りして続けることでした網羅的なデータベースとなる。このデータベースには現役生を含む同窓生からアプローチ出来る仕組みを整備することで、さらに充実した交流させ、母校生徒支援に繋がることを期待している。

■ミドルからシニアのみなさんにも、人生100年、80歳現役時代での「ライフシフト」して、生き生き活躍して入る同窓生を紹介する「ライフシフト倶楽部」を準備中。これまでの20歳過ぎまで学び、60歳まで働き、定年後は引退余生という3ステージの行き方から、学び、働くこと、リフレッシュすることを自分らしく組合せたマルチステージの行き方が求められる時代になってきた。同窓会活動も当番幹事を終えたら燃え尽きてしまうことなく、その生き方をこの変化激しい時代で悩む後輩同窓生に示してほしいと願う。自薦他薦共に大歓迎である。(北原譲、82回生、常任幹事、東京清陵会事務局長)

女性部活動のご紹介



2021年度、新型コロナウイルス禍でリアルな活動が難しくなる中、女性部では本部のZOOMアカウントを活用し、リモートで活動を続けました。

そのような中でわかってきたことは、オンラインにはオンラインならではの大きな魅力があることです。それは、今いる場所が諏訪であれ国内外の各地であれ、どこにいても手軽に同じ時間を共有できること。そして資料であれ写真であれ動画であれ、同じ画面を即座に共有できること。さらに氏名が表示されるため、初めての参加者でも顔と名前が一致することも魅力でした。そのことは、コロナ禍当番幹事の皆様のご尽力下さったオンライン総会・講演会や、清陵勉強会に参加された皆様は、もうよくお分りのことと思います。

そこで女性部では、オンライン活動をいっそう充実させることとしました。全国のOGの皆様を対象にした、女性部オンライン総会は、昨年に引き続き今年も4/17に開催致しました。さらに、オンライン活動の経験を活かし、当番幹事経験者の皆様にもご協力頂き、清陵勉強会（東

京支部の支援で東京を会場に過去188回開催）の全国展開のお手伝いを始めます。従来リアルで2カ月に1回だった勉強会を、オンライン利用で全国に展開するとともに、持ち込み企画歓迎で充実させていこうと考えています。こちらはもちろん、女性部に限らず全国のOB・OGの皆様のご参加をお待ちしています。

一方、現在リアルでの開催を期待しているのが「諏訪神仏プロジェクト・拝観あるき」です。諏訪神仏プロジェクトは、かつての神仏習合時代に現在の諏訪大社に祀られていた仏像を、明治の廃仏毀釈運動以来大切に預かりしてきた諏訪地方の19カ寺が150年ぶりに一斉公開し、神様と仏様が共存したかつての姿を振り返るものです。諏訪大社や各寺社の参加のもと、現在スワニズム（事務局長・石笠三千穂＝86回生）や（一社）大昔調査会（代表理事・高見俊樹＝78回生）が中心となって準備を進めています。女性部では、スワニズムや大昔調査会の同窓生にガイド役をお願いし、10月16日（日）に参拝と町歩きを行う予定です。ぜひこの機会にご参加ください。諏訪神仏プロジェクトHP詳細はこちら<https://suwa-tabijp/feature/suwa-shinbutsu.jp>（10月1日・土曜日～11月27日・日曜日）。女性部部長 小尾順子（78回生）



～女性部便り～

女性部副部長 小口澄江（80回生）

2018年より女性部が活動を始めて早4年。6回のイベントを行って参りました。初めの2年間は地元の知らなかった場所や歴史、新たな発見。また大先輩のお話を聞き、その当時に思いを馳せ、興味津々。胸躍るお話が多く学ばせて頂きました。これが同窓会の矢崎和広前会長の仰ったワクワク感でしょうか…。後の2年間はコロナ禍の中、イベントや旅行の中止、集まりの中止。そんな中でもオンラインにてお顔を拝見する事も出来ました。同窓会は不要不急と言われるかもしれませんが、コロナ以前の当たり前であった日常、皆様と対面してお話、すべてが今となっては幸せな事でした。コロナと共存の世界でどう生きるか、学生さん達も頑張っています。今しかできない事に取り組めるように知恵を絞っていききたいと思います。ご参加をお待ちしております。

松本支部 北原薫（86回生）

松本支部女性部では今年度10月31日に、茅野支部と合同でオンラインイベントを開催しました。ご参加下さった皆様、

茅野支部の皆様感謝いたします。何かと制約の多い中ですが、新しいことを取り入れて活動を続けていきたいと思ひます。

松本支部では現在まだ登録会員が少ないため、松本地区にお住まいの方の登録をお待ちしております。中信地方にお住まいの方、是非、松本支部女性部への登録をお願いいたします。

k1raraka0r1t0kot0ko@ymobile.ne.jp

岡谷支部 今村祐子（84回生）

岡谷支部は、何もないうまま1年が過ぎてしまいました。コロナ禍でも、同窓生のつながりがひとつずつでも結ばれていけるように、できることを探していきたいと思ひます。

yukoi.trk.3958@gmail.com

～連絡先～

各学年の女性幹事の方および女性部への登録は以下までメールにてご連絡ください。

Seiryoseibu@yahoo.co.jp

諏訪清陵同窓会女性部事務局 小口理子

令和4年度同窓会報「学校だより」

令和3年度も、新型コロナウイルスのデルタ株、オミクロン株と次々に変異株が流行し、全国のすべての教育機関が感染予防対応を迫られた1年でした。幸いなことに本校では、生徒や保護者、教職員の感染予防に対する意識の高さから、休校措置をとることはありませんでしたが、短縮授業や分散登校、行事の中止や変更などを余儀なくされることもありました。

したがって、今回の「学校だより」も昨年に引き続き、本校のコロナ対応を記録に残す意味も含め、清陵のこの1年間の様子をお知らせします。

4月の感染状況に鑑み、全校生徒が一同に会する集会を避けるべきであるという判断から、6日午前の始業式および着任式はリモートで行われ、生徒はそれぞれのクラスでオンライン参加となり、校歌斉唱もなく物寂しい年度のスタートとなりました。午前の始業式に続いて、午後には令和3年度の入学式（中高合同）が挙行され、高校生242名及び附属中学校生80名が入学しました。入学式も感染対策として出席者を限定し、入学生、各家庭1名のみの保護者、教職員によるものとなりました。

4月から7月にかけては、諏訪地区の感染状況も一定の落ち着きをみせていたことから、感染予防対策を徹底しながら、通常に近い形の教育活動を行うことができました。昨年中止となってしまう公開授業や春季クラスマッチ等の学校行事を行うことができ、高体連、高野連等の大会についても、参加者や観戦者を限定しながら実施することができ、さまざまな種目で本校生徒の活躍が見られました。

校友会最大の行事である第71回清陵祭は、「輝耀（おうひょう）」のテーマのもと、7月2日から4日まで予定どおり開催することができました。コロナ感染予防のため、校内祭のみ実施の検討も進められていましたが、校友会役員を中心とする全校生徒の熱意と校友会からの徹底した感染予防対策案により、参加者をオンラインによる事前登録で制限した3部制による一般公開が実現し、生徒たちは様々なところで最高のパフォーマンスを見せてくれました。一部オンライン鑑賞を取り入れた合唱コンクール、悪天候のため校舎から見ているだけになりましたが、ファイヤーストームの実現、アーチもポスターも復活し、「Withコロナ」でいかに行事を実現していけるのか考えさせられる、記憶に残る本当に素晴らしい清陵祭でした。

中学3年生を対象とした学校説明会も無事終了し、夏休みに入りほっとしたのも束の間、8月に入るとデルタ株の拡大による第5波が押し寄せてきます。11日には諏訪地域の感染レベルが「5」に引き上げられ、部活動の自粛と夏休み中の登校禁止が求められました。夏休み明けの23日からは午前中のみの短縮授業となり、午後の授業については、学習支援システム Google Classroom を活用したオンライン学習との併用となりました。その後、県教育委員会より感染リスクを減じる措置を9月12日まで講じることとの指示があり、午前中のみの授業を13日まで延長、そ

のまま第2回定期テストに突入します。

9月16日、茅野市以外の感染レベルが「4」に引き下げられたため、感染予防対策をより一層徹底した上で通常日課に戻りましたが、依然として大会を直前に控えた部以外の部活動は禁止され、大学入試などにより県外を訪れた場合でも、帰宅の翌日から3日間は自宅で待機するよう、県外訪問ガイドラインが確認されました。その後9月30日には諏訪市の感染レベルが「2」に引き下げられたため、部活動が新人戦に向けて本格的に活動できるようになりました。10月から12月にかけては、感染状況がかなり落ち着き通常の学校生活が取り戻され、3年生は大学受験に向けて追い込みに入り、キャリア講演会（オンライン）や課題研究中間発表会、1年生対象の先端技術研修、2年生対象の京都大学iCeMSキャラバン講演会等の行事を、予定通り行うことができました。一方で、10月19日に予定されていた伝統行事「湖周マラソン」については、集団で湖周を走ることが許されておらず、残念ながら2年連続で中止にせざるを得ませんでした。また、11月8日から11日に予定されていた2年生の研修旅行については、2月に延期することとなりました。

年が変わり1月からは、オミクロン株による第6波の影響を大きく受けることとなります。1月14日には全県の感染レベルが「4」に引き上げられ、学校ではレベル「5」相当の対応をとるよう県教育委員会から指示があり、当面の間部活動は休止となりました。2月に延期されていた2年生の研修旅行は3月に再延期されました。また、1月26日より本県に適用された「まん延防止等重点措置」に係り、27日は午前中4時間授業、午後はLHRでオンライン授業に係る説明を行い、翌28日からは分散登校を始めました。3年生は後期特編に入っており限られた生徒のみの登校であったので予定通りとし、1年生はクラスの出席番号奇数をX、偶数をY、2年生は講座単位の授業のため1、3、5部をX、2、4、6部をYとし、Xグループが登校し対面授業を受ける日は、Yグループがオンライン会議システム Google Meet で配信される同じ授業を家庭で受け、翌日にはX、Yを逆にするという日課を始めました。分散登校は1、2年第4回定期考査前までの2月18日まで続くことになりましたが、ICT環境の充実と先生方のスキルアップにより、さほど混乱もなくハイブリッド教育が行われたことは、コロナ禍におけるプラスの産物であったと思います。

2月5日実施の課題研究発表会についてもオンライン開催となりましたが、学校評議員の皆さまをはじめ多くの外部の方々に視聴いただき、高い評価をいただきました。今年度は第4期指定の最終年度となりましたが、今後も「探究」の次のステージに向けて、コロナとともに実施でき得るイベント、コロナに負けない探究活動を推進していきたいと考えております。

新型コロナウイルスとともに厳しい受験を闘い抜いた

刺身 仙岳

代表取締役社長
小口慶一郎
(84回生)



ご家族やお仲間の集いの場
としてご利用下さい

全室、個室です。
和室に椅子の部屋もご用意できます。

仕出しもご相談下さい。
ふぐ刺し・焼きかに等のお持ち帰りも
ご用意しております。
お祝いなど、特別な日の
お食事にいかがでしょう。

(←写真のふぐ刺しは持ち帰り用3人前)

<諏訪本店>
諏訪市湖岸通り5-17-3
(湖明館通り)
TEL: 0266-58-3515



<松本店>
松本市深志2-2-15
TEL: 0263-35-7849

125 回生を送り出す、第 73 回卒業証書授与式は令和 3 年 3 月 4 日に挙行され、233 名（男子 116 名、女子 117 名）が学び舎を後にしました。今年度も卒業生と教職員に加え、各家庭 1 名の保護者の方、PTA 会長にもご臨席いただいたの挙行となりました。今回は校歌斉唱は行えず、校歌を歌わない卒業式が 3 年も続いてしまい、残念でなりません。なお、清陵附属中 3 期生を含む清陵高校 125 回生の合格状況は別表にお示ししたとおりです。

今年度は休校措置による年間計画の大幅な変更を強いられることはなく、分散登校期間中もオンラインにより授業時間を確保し、生徒の学習は十分に保障されましたが、以下の学校行事については、感染予防のために中止としました。

【中止した行事】

＜PTA 総会＞ 5 月 22 日予定

(午前の公開授業のみ実施)

＜芸術鑑賞＞ 6 月 9 日予定

＜端艇大会＞ 8 月 29 日予定

＜湖周マラソン＞ 10 月 19 日予定

また、コロナ禍は、今年度も本校の SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業にも影を落としました。本校は、平成 29 年度から第 4 期（5 年間）の指定を受けており、令和 3 年度はその最終年となりましたが、海外研修の代替として 3 月に計画していた沖縄研修は、コロナ感染拡大のため中止（来年度に延期を検討中）になってしまいました。

部活動においては、昨年のように大会の中止等はほとんどありませんでしたが、コロナ感染予防のため練習や練習試合等が制限される中、生徒は目標としていた様々な大会やコンクールに向けて全力を尽くしました。そのような状況下において顕著な成績を修めたものをお知らせします。

高等学校運動系クラブ

■長野県高等学校総合体育大会等の主な成績

＜陸上＞

男子 110mH：鈴木千紘＝4 位

男子走幅跳：宮坂仁士＝6 位

女子 100m：藤森七海＝1 位

女子 200m：藤森七海＝3 位

女子 400m：中村空夏＝5 位

女子 400mH：中村空夏＝5 位

女子 4 × 100m リレー＝3 位

女子 4 × 400m リレー＝4 位

＜男子硬式テニス＞

個人戦シングルス：北澤開＝ベスト 8

個人戦ダブルス：北澤開・宮寄和真組＝ベスト 16

＜端艇＞

男子シングルスカル：山田泰樹＝1 位

：小松翔太＝4 位

男子ダブルスカル：藤森寛生・師田雄翔＝3 位

男子舵手付クオドルブル＝1 位

女子シングルスカル：青木ひなた＝1 位

：中山結＝6 位

女子ダブルスカル：斎藤梓・朝倉ちひろ＝1 位

：田中花・小松茉央＝5 位

＜水泳＞

女子 200m 背泳ぎ：大槻遥花＝10 位

女子 400m 自由形：大槻遥花＝10 位

＜剣道＞＝団体戦出場

＜男子バレーボール＞

清陵 2－0 上田東

清陵 0－2 松本国際

＜ハンドボール＞

清陵 21－25 上田東

＜硬式野球＞

第 103 回全国高等学校野球選手権長野大会

2 回戦 清陵 9－2 松本美須ヶヶ丘

3 回戦 清陵 0－6 松本第一

■インターハイの成績

＜陸上＞

女子 400m：中村空夏＝予選 7 位

＜端艇＞

男子シングルスカル：山田泰樹＝予選 4 組 4 位

女子シングルスカル：青木ひなた＝予選 3 組 4 位

男子舵手付クオドルブル＝師田雄翔・辻元南・杵瀨樹生

矢崎快人・植松心大＝準々決勝 3 組 6 位

女子ダブルスカル：斎藤梓・朝倉ちひろ＝決勝 6 位

■長野県高等学校新人体育大会等の主な成績

＜陸上＞

女子 100m：藤森七海＝2 位

女子 200m：藤森七海＝2 位

：中村空夏＝8 位

女子 400m：中村空夏＝4 位

女子 100mH：春日莉緒＝8 位

女子 4 × 100m リレー＝4 位

女子 4 × 400m リレー＝3 位

＜端艇＞

男子クオドルブル＝2 位

男子シングルスカル：矢崎快人＝2 位

男子ダブルスカル：島田楓太・長崎颯太＝3 位

：牛山渉・宮澤光樹＝8 位

女子クオドルブル＝2 位

女子シングルスカル：池上桃可＝3 位

女子ダブルスカル：宮川結衣・中山結＝2 位

＜男子硬式テニス＞

団体決勝 清陵 0－3 松商学園（準優勝）

⇒ 27 年ぶりに北信越大会出場

シングルス：北澤開＝5 位

ダブルス：北澤開・宮寄和真＝ベスト 8

＜卓球＞

男子シングルス：木村優心＝ベスト 32

＜バトミントン＞

女子シングルス：小池梨々子出場

＜ハンドボール＞

3 位決定戦 清陵 15－19 岡谷南

＜水泳＞

女子 50m 背泳ぎ：大槻遥花＝4 位

女子 100m 背泳ぎ：大槻遥花＝10 位

女子 200m 自由形：大槻遥花＝6 位

＜男女バレーボール＞＝春高予選県大会出場

＜サッカー＞＝選手権大会 1 回戦 清陵 3－4 長野西

高等学校文化系クラブ

＜吹奏楽＞

○第 61 回長野県吹奏楽コンクール高校部門中南信地区 A

編成出場＝銀賞・奨励賞

＜かるた＞

○県高校新人かるた大会＝団体 4 位

＜書道＞

○令和 3 年度和歌山全国高校総合文化祭出品：福島彩綺

＜古典ギター＞

○県高校ギター・マンドリンフェスティバル

＝全日本高校ギターマンドリン音楽振興会賞

＜化学部＞

○自然科学フェスティバル＝化学分野最優秀賞

令和 3 年度和歌山全国高校総合文化祭出場

○課題研究合同研修会＝化学部門最優秀賞

＜生物部＞

○課題研究合同研修会＝生物部門優秀賞

北信越大会出場

＜天文気象部＞

○自然科学フェスティバル＝地学分野最優秀賞

令和 3 年度和歌山全国高校総合文化祭出場

＜クイズ研究部＞

○AQL 信州リーグジュニアの部＝4 位

○全国高等学校クイズ選手権 県 8 位

令和 3 年度末 教職員人事異動

転・退職職員				新任職員	
氏 名	転出先等	教科等	氏 名	前任校等	
赤羽 勲夫	松川村立松川中学校（校長）	副校長	丸山 剛生	駒ヶ根市立赤穂東小学校（教頭）	
樋口 祐史	梓川高校	国語	藪下 享士	諏訪清陵高校附属中学校	
山浦 秀和	小諸高校	地歴公民	細田 佳苗	岡谷南高校兼務（非常勤講師）	
森澤 太平	岡谷南高校	理科	阿部 秀幸	諏訪実業高校	
久松 俊雄	富士見高校		高見澤美穂	阿南高校	
守矢 秀明	退職	保体	土橋 邦彦	県教育委員会事務局スポーツ課	
加賀見一輝	岡谷東高校（新規採用）		小松 南織	岡谷東高校兼務（非常勤講師）	
百瀬 登	下諏訪向陽高校	芸術	津金 多朗	明科高校	
濱 裕子	退職				
藪下 享士	諏訪清陵高校	中学	国語	高梨真奈美	上田市立塩田中学校
五味 和高	総合教育センター教科教育部 専門主事		社会	北川 大貴	諏訪市立上諏訪中学校
森田 宏之	軽井沢町立軽井沢中学校		数学	増澤 直也	伊那市立高遠中学校
平野 幸規	飯山市立城北中学校	英語	三浦 裕介	上田東高校	
百瀬 信二	諏訪養護学校	事務長補佐	主事	宇都宮里緒	中信県税事務所課税課
鈴木 綾太	建設政策課建設業担当	主事	主事	柳平 信夫	諏訪養護学校

SWATEC

美しい未来環境を創る



スワテック建設株式会社

〒392-0017 長野県諏訪市城南二丁目2353番地
Tel. 0266-52-4343 Fax. 0266-52-4347

太陽工業株式会社

精密加工業界の
リーディングカンパニー

（太陽工業グループ）

代表取締役社長 小平直史(88 回生)

会社所在地

■本社工場／
〒392-8595
長野県諏訪市四賀107
☎0266-58-7000

■諏訪南工場／
茅野市金沢3410-10

■テクノロジセンター棟／
茅野市金沢3410-5

■豊平工場／茅野市豊平 1528



令和3年度(2021年度)入試結果(令和4年4月現在)

卒業生数: 進学者数: 就職者数: 進学率: %

国立大学 大学名	年度	令和4年度入試		
		現役	既卒	合計
北海道	2			2
弘前		1	1	
岩手	1		1	
東北	1	1	2	
福島	1		1	
茨城	1		1	
筑波	4		4	
群馬	1		1	
埼玉	2		2	
千葉	7		7	
電気通信		1	1	
東京海洋	1		1	
東京	4		4	
東京医科歯科	1		1	
東京学芸	2	1	3	
東京農工	1		1	
一橋	2		2	
横浜国立	3		3	
新潟	2	1	3	
富山	2	1	3	
金沢	5		5	
山梨	2		2	
信州	23	4	27	
岐阜	1		1	
浜松医科	1		1	
名古屋	5	1	6	
京都	1		1	
大阪	3		3	
奈良女子		1	1	
神戸	1		1	
鳥取	1	1	2	
広島	1		1	
愛媛		1	1	
九州工業	1		1	
国立大学合計	83	14	97	

公立大学 大学名	年度	令和4年度入試		
		現役	既卒	合計
札幌市立		1	1	
高崎経済	1	1	1	
東京都立	4		4	
横浜市立	1		1	
新潟県立	2		2	
三条市立	1		1	
福井県立	1		1	
都留文科	1		1	
長野県立	2		2	
長野県看護	1		1	
静岡県立	1		1	
岐阜薬科		1	1	
愛知県立	2		2	
名古屋市立	1		1	
京都府立	1		1	
京都市立芸		1	1	
大阪公立	1	1	2	
芸術文化観光専門職		1	1	
高知工科	1		1	
北九州市立	1		1	
公立大学合計	22	6	26	
国公立大学計	105	20	123	
医学部医学科				
大学名	年度	令和4年度入試		
		現役	既卒	合計
弘前			1	1
信州		1	1	2
富山			1	1
鳥取		1		1
防衛医科大学校			1	1
計	2	4	5	

私立大学 大学名	年度	令和4年度入試		
		現役	既卒	合計
札幌学院	1		1	
酪農学園		1	1	
日本医療	1		1	
東北医療	1		1	
東北芸術工	1		1	
奥羽	1		1	
国際医療福祉	2	2	4	
高崎健康福祉	4		4	
群馬医療福祉	1		1	
埼玉医科		1	1	
埼玉工業	3		3	
獨協	3		3	
文教	1	1	2	
日本医療科学	1		1	
日本保健医療	1		1	
城西国際	1		1	
千葉工業	5	2	7	
青山学院	6	2	8	
桜美林	2		2	
大妻女子	2		2	
学習院		1	1	
北里	4		4	
共立女子	3	1	4	
杏林	3	1	4	
慶徳義塾	5	1	6	
工学院	7		7	
国学院	2		2	
国際基督教	1		1	
国士館	1		1	
駒澤	3	3	6	
実践女子	2		2	
芝浦工業	3	1	4	
順天堂	5		5	
上智	6		6	
昭和	1		1	
昭和薬科	1		1	
成蹊	2		2	
成城	1	1	2	

聖心女子 専修 創価 大東文化 多摩美術 中央 津田塾 帝京 帝京科学 東海 東京音楽 東京家政 東京経済 東京女子 東京電機 東京農業 東京薬科 東京理科 東洋 二松学舎 日本 日本獣医生命 日本女子 日赤看護 日本文化 文化学園 法政 星薬 東京都市 武蔵 武蔵野 明治 明治学院 明治薬科 明星 立教 早稲田 麻布 神奈川 神奈川工科 関東学院	年度	令和4年度入試		
		現役	既卒	合計
2			2	
4			4	
1			1	
1			1	
2			2	
11	3	14		
1	4	5		
1	1	2		
	1	1		
	2	2		
	1	1		
1		1		
2		2		
1	2	3		
5	1	6		
1		1		
4	6	10		
6	6	12		
3		3		
3	2	5		
1		1		
2		2		
2		2		
1		1		
1		1		
8	3	11		
3		3		
1		1		
	1	1		
4		4		
10	5	15		
2		2		
1	1	2		
1		1		
3	1	4		
11	3	14		
1	1	2		
4		4		
5		5		
1	1	2		

相模女子 湘南工科 桐蔭横浜 横浜薬 新潟工科 新潟医療福祉 金沢工業 北陸 山梨学院 山梨英和 松本 長野保健医療 松本看護 岐阜医療科学 静岡理工科 愛知 愛知学院 愛知工業 中京 名古屋外 名古屋学院 南山 日本福祉 名城 名古屋学芸 日赤豊田看護 藤田医科 京都産業 京都女子 京都芸術 京都橘 同志社 同志社女子 明治国際医療 佛教 立命館 龍谷 追手門学院 大阪工業 関西 近畿	年度	令和4年度入試		
		現役	既卒	合計
1			1	
1			1	
4			4	
1			1	
2			2	
1	1	2		
3	1	4		
1		1		
3		3		
2		2		
2		2		
1		1		
3		3		
2		2		
4		4		
2		2		
1		1		
2		2		
3		3		
3	1	4		
1		1		
1		1		
2		2		
3	1	3		
3	1	4		
1		1		
	1	1		
11	9	20		
3		3		
1		1		
1		1		
3	1	4		
1	1	2		

関西学院 神戸薬科 武庫川女子 福岡 私立大学合計 短期大学 大学名 会津大短大部 岐阜市立女短大 三重短大 大分県芸文化短大 創価女短 飯田女短 信州豊南短 清泉女学院短 松本大松商短 短期大学合計 専門各種学校(現役のみ) 大学名 日本鉄道スポーツ 新潟コンピュータ 諏訪中央病院看護 専門各種学校合計	年度	令和4年度入試		
		現役	既卒	合計
3		1	4	
1			1	
2			2	
1			1	
288	85	373		
1		1		
3		3		
		1	1	
1		1		
1		1		
2		2		
1		1		
1		1		
1		1		
11	1	12		
1		1		
1		1		
1		1		
3		3		



諏訪と共に成長します

株式会社
世田谷自然食品

代表取締役社長 河西英治 (75 回生)



Athlete

事業内容
半導体製造装置・工場自動化設備の設計・製造・販売

アスリートFA株式会社

代表取締役会長 山崎 晃 (64 回生)

本社所在地: 〒392-0012 諏訪市四賀2970-1
TEL: 0266-53-3369 FAX: 0266-53-3538
http://www.athlete-fa.co.jp

関連会社: 愛立発自動化設備(上海)有限公司



渋江精密工業株式会社
SHIBUESEIMITSU CO.,LTD

取締役会長 渋江 利明 (71 回生)
代表取締役社長 渋江 祐貴 (104 回生)

〒392-0015 長野県諏訪市大字中洲4600 番地
TEL 0266-53-1200 FAX 0266-58-3509
https://shibue-seimitsu.co.jp

地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部	松本支部	上伊那支部	北信支部
支部役員	支部長：土橋勝 (64 回) 副支部長：小林信郎 (56 回)、 山田正幸 (59 回)、岡田敏史 (63 回)、小池千代枝 (64 回) 女性部会長 (兼任) 監事：篠原明彦 (69 回)、北原 幸一 (70 回) 相談役：小坂洋道 (63 回) 顧問：吉澤啓介 (57 回) 事務局次長：花岡正 (69 回) 幹事：小松文吉 (56 回)、松本 本興 (61 回)、竹中由幸 (63 回)、鈴木勝 (64 回)、神戶 正幸 (66 回)、藤森賢幸 (70 回)、植松高志 (72 回)、名 取和一 (75 回)、花岡正浩 (76 回)、岡聖 (83 回)、岡部陽 一 (83 回)、西出あすか (94 回)、藤森賢也 (94 回) 任期 2023 年総会当日まで	支部長：今井安泰 (67 回) 副支部長：塚平均 (69 回)、 細田正昭 (65 回) 事務局次長：矢澤弘司 (81 回) 事務局次長：酒隆二 (73 回)、 今井啓雄 (89 回) 事務局次長・女性部長 (兼 任) 牧賀二生 (89 回) 監査役：鶴巻健彦 (63 回) 顧問：太田龍朗 (61 回)	支部長・会長：原大 (73 回) 副支部長・副会長：守矢早 苗 (67 回)、功刀正行 (69 回)、岡角寛文 (78 回) 会幹事：小海健治 (84 回) 監査幹事：青木基浩 (82 回) 事務局次長：北原謙 (82 回) 事務局次長：有賀一温 (75 回)、矢崎理恵 (81 回)、 岡本徹 (83 回)、森政宏 (84 回)、赤羽俊昭 (84 回)、 清水信次 (84 回)、佐藤 美智子 (88 回)、荒本健 太郎 (99 回)	支部長・会長：小林治雄 (65 回) 副支部長：堀川裕一 (69 回)、 矢崎幹明 (71 回) 幹事長 朱澤あ子 (80 回) 女性部長：北原薫 (86 回) 会計：土屋公男 (72 回) 監事：野口義博 (69 回) 常任幹事：藤森謙二 (64 回)、 山田登義 (64 回)、山本 建夫 (64 回)、藤森邦秀 (65 回)、小松浩 (68 回)、竹 内達也 (74 回)、横沢達 郎 (76 回)、守屋都夫 (82 回)	支部長：加島龍久 (70 回) 副会長：林靖 (62 回) 相談役：荻野浩 (57 回)、伊藤 隆一 (58 回)、大森 尚人 (68 回) 幹事長：赤羽博 (78 回) 会計：堀島正寿 (80 回) 事務局：加藤恒夫 (86 回) 幹事：長谷川茂夫 (60 回)、 根崎義太郎 (71 回)、川 島弘 (73 回)、寺沢則子 (79 回)、武居保男 (80 回)、 橋本実樹 (83 回)、中村 海基 (92 回)、古村慎二 (92 回)、平泉晃 (94 回)	支部長：岩本弘 (65 回) 副支部長：花岡佳市 (71 回)、 赤羽昭彦 (76 回)、堀谷 広治 (79 回)、棚代卓平 (86 回) 支部幹事：今井洋二 (85 回)
事務局連絡先	〒 562-0025 箕面市栗生外院 1-17-1-1311 TEL: 072-727-3616 Email: hanaoka1311@yahoo.co.jp	〒 482-0034 岩倉市石引町市ノ坪 19 番地ラ グランデールセルビエ 603 号 TEL: 090-6642-3445 Email: hisi19y@docomo.ne.jp	TEL: 080-3939-0266 Email: tokyoseiryokai2017@gmail.com	〒 390-0813 松本市理橋 1-9-14-501 矢崎幹明 TEL: 090-5191-0333 FAX: 0263-88-3082 Email: moofrei-yaz@outlook.jp	〒 399-0422 辰辰野町平出 1951 番地 1 TEL: 090-9146-4018 Email: tsune21rc@gmail.com	〒 380-0905 長野市穂積七瀬南部 519-1-210 今井洋二 TEL: 090-8946-0217 Email: yimaie@naganoken-culture.co.jp
直近の支部総会	◎第 24 回総会 新型コロナウイルス対応 で、ホテルから在宅メール 会議 (役員会) に変更し、 議案書を可決承認	コロナの為中止	テーマ「諸語式」で考えるコロ ナ後の世界、新しい幸せをどう 作るか? 当番幹事 88 回生主催 第一部: インタビュー収録放映・ 小倉美恵子さん、第二部: 同期生 講演: 本澤義之 (神戸大学医学 部特命教授)、花岡宏枝 (evam 共同代表、コンチネンツリーダン サー)、野澤聡 (駒橋大学国際教 養学部准教授)、第三部: グル ープ交流 なお、議案は会報並び に HP に記載し、賛否は返信ハ ガキで行い、いずれも可決	コロナ感染状況から、総会は 当面見合わせる予定。 レベル 3 以下になった段階で 総会実施可否を検討する。	新型コロナウイルスの感染 拡大防止のため、開催を見 送りました。	アフターコロナを見据え、 試験的に ZOOM で開催。 小口康策学校長からコロナ禍 における清陵の近況、中 村博司副会長からは今後の 同窓会のあり方などについて お話をうかがった。また、 諏訪地域の賑や坂本美川の 活動などを紹介した「坂本 美川賑々マップ」について赤 羽昭彦副支部長が解説し た。
前年度活動	ゴルフ部会 春、秋共中止 歩こう部会 秋「隠岐島か ら大神神社を歩く」11/13 9 名 女性部会 実施なし カルチャー部会 東京清陵 会のオンライン同窓会など (10/3 11/27) に参加 広報部会 会報第 31 号 3 月 15 日発行 209 名送付 ホームページの開設 http://sites.google.com/ view/seiryoku-kansai 支部役員会 メール会議で 実施 10/4 第 25 回総会 中止。議案 書をメール役員会で議決 会報準備 原稿を会員に依 頼。部会長は結果報告と予 定を記載。メール役員会の 内容も会報及びホームペ ージに記載 (事務局 花岡) 活動ができなかったため、 2022 年会費 2 千円は徴収 しないことを決定	2021 年 11 月 1 日…東海支 部会報 (第 2 号) 発行	・東京清陵会だより 32 号の 発行・事務局会議・幹事会 (オンライン) ・清陵勉強会 (隔月 偶数 月、オンライン開催)・第 8 回ミドル交流会 (12 月、オ ンライン、出席 57 人) ・第 6 回女子会 (1 月・オ ンライン)・高校キャリア 講座への講師派遣 ・東京同志連、南信同志連 会議への出席 (全体会合等 の行事は中止) ・新しい三つの構想 (人材 バンク、同好会、ライフシ フト倶楽部) の試行 ・東名阪事務局長連絡会の トライアル開催 (2 月・オ ンライン)	◎支部長・幹事長会議 3 月 7 日: 当面の支部運営につ いて検討 3 月 31 日ステーションホテ ルにて役員会開催を決定 ◎役員会: 3 月 31 日 (本) 松本駅前: ステーションホ テル コロナ感染下における支部 運営について 創立 130 周年を目前とした 同窓会を見つめなおして みませんか…討論会	3 月 15 日役員会 (当年度の 支部総会について協議)	新型コロナウイルスの影響 で支部活動も制約を受ける 中、総会などの実施方法に ついて支部長、役員らで 10 月の初旬から検討した。前 年 2020 年度支部総会は開催 を見送っている。2021 年度 総会は感染状況が小康状態 にあった時期だが、数千人 規模の会合は感染リスクを 高める警戒感もあった。ま た、新型コロナウイルスの 情勢が見通せない状況で、 今後の支部活動を継続して いく方策一つとして、試験 的に ZOOM での総会開催 を決めた。
今年度の計画	第 25 回総会議案書はメ ール役員会で承認 ゴルフ部会 部会長 鈴木 勝 (0736-363540) 5 月、10 月開催予定 歩こう部会 部会長 名取 和一 (090-50195789) 幹事 花岡正 春、秋開催予定 カルチャー部会 部会長 植松高志 (0743-54-2544) クラシック懇話会/東京オン ライン同窓会参加呼びかけ /近畿長野県人会への入会 を案内し「趣味同好会」へ の参加を呼びかけ 広報部会 部会長 名取和 一 会報は年 1 回発行。ホ ムページの管理運営 女子部会 部会長 小池千 代枝 (075 - 594-4357) 秋 頃に座談会を開催予定 支部役員会 必要に応じて 開催	2022 年 3 月末日…新規会員 募集活動 (第 3 号会報送付 を併せて。85 回～114 回生 まで) 2022 年 8 月 6 日 (土) …東 海支部: 第 37 回定期総会 懇親会 名古屋・千種「メ ルパルク」11:30～15:30 (予 定) 2022 年 11 月末日…東海支 部: 第 3 号会報誌発行 (総 会中止の場合)	・東京清陵会だより 33 号の発行・ 第 35 回総会・懇親会の開催 (10 月 2 日オンラインも含めた開催形 態を検討中、オンライン開催の場 合は前年同様、他支部等に開校) ・清陵勉強会の開催 (隔月・オンラ イン)・ゴルフ部の開催 (検討中) ・第 7 回懇親会を考慮する若手の 会開催・第 9 回ミドル交流会の開 催・第 7 回新年乾杯・学生交流会 の開催・第 7 回女子会の開催・新 しい三つの構想の推進・オンラ インイベントの企画・開催・委員 体制の見直しと効率運営・会員 満足度の向上・活動の充実・ホ ムページ活用拡充・facebook など SNS 活用による広報活動の充実・ 母校連絡: 付属中学東京清陵修 養場見学受入れ、高校キャリア教 育講座に講師派遣、同窓生教授 の出席講演・コロナ禍での同窓会 の意義・開催形態・新企画・本部 他支部との連携の模索と実現	コロナ感染状況をみながら 検討するが、当面は具体的 な計画はない。 依以降に総会ができれば良 いと考えている	支部総会 (秋頃を目途に、 今後のコロナの状況で開催 を判断)	

	原支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長・会長：荒木敬悦 (72 回) 副支部長・副会長：藤原光 郎 (75 回)、小林千晃 (79 回) 顧問：小林貢三郎 (52 回)、 清水達 (57 回)、堀内元 長 (62 回)、荒本桂男 (63 回) 会計監査: 小平恒夫 (71 回)、 小林明仁 (71 回)	支部長・会長：飯田幹夫 (69 回) 副支部長・副会長：小林茂 光 (72 回)、五味公守 (74 回)、斎藤眞道 (78 回) 事務局：川合弘人 (76 回)	支部長：田村義明 (70 回) 副支部長：宮坂和生 (73 回) 事務局次長：北沢政英 (84 回)	支部長：宇星 均 (76 回) 副支部長：河西秀樹 (78 回) 広報局：三井建三 (77 回) 会計：山崎義夫 (77 回) 女性部長：小口理子 (84 回) 事務局：藤森政明 (76 回) 監事：山崎尚志 (75 回)	支部長：林元夫 (73 回) 副支部長：山田孝實 (72 回)、 滝克典 (74 回) 事務局：野村光夫 (75 回) 女性部長：井上喜久美 (80 回)	支部長：小口憲司 (69 回) 副支部長：宮坂好史 (75 回)、 河西一彦 (79 回)、今村 祐子 (84 回)
事務局連絡先	〒 391-0106 諏訪郡原村 10115-2 TEL: 0266-79-4019 090-9660-4950 FAX: 0266-79-4019 Email: gqrw8u98@time.ocn.ne.jp	〒 399-0211 富士見町富士見 8400-74 TEL: 0266-62-2774 TEL: 0266-78-1230 Email: kawai@po5.lev.ne.jp	〒 391-0301 茅野市北山 6740-1 TEL: 090-9665-3256 Email: luckykit@po29.lev.ne.jp	〒 392-0010 諏訪市洪崎 1832 TEL: 0266-52-5747 090-8326-1742 Email: apple0ve1616@yahoo.co.jp	〒 393-0003 下諏訪町森谷 2620-5 野村光夫 TEL: 0266-28-4381 090-3552-5846 FAX: 0266-28-4381 Email: mnemu210@yahoo.co.jp	〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 諏訪信 用金庫内 TEL: 0266-23-4567 FAX: 0266-24-4055 Email: jinji@suwashinkin.jp
直近の支部総会	新型コロナウイルスにより 中止。	令和 3 年度も 2 年度に引き 続き、新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、例年 2 月に開催している富士見町 支部の定期総会では中止いた しました。	支部総会中止 (令和 4 年 2 月 12 日 (土) 予定)	開催できませんでした。	2021 年 4 月予定の令和 2 年 度支部総会中止 2022 年 4 月予定の令和 3 年 度支部総会中止	令和 3 年 12 月 21 日 (火) 開催の正副支部長会議にお いて、コロナの影響を踏ま して令和 4 年度の支部総会 開催中止を決定した
前年度活動	新型コロナウイルスにより 中止。	・正副会長・事務局会議の 開催 (令和 3 年 12 月 21 日、 5 名出席) ・物故会員の弔問事業 ・長野日報への広告掲載 (2 回)	令和 3 年 12 月: 支部幹事 会書面決議 (支部役員改選・ 支部総会開催等について) 令和 4 年 2 月 12 日: 支部 総会中止 令和 4 年 5 月 (予定): 支部 幹事宛本部総会の通知及び 出席取りまとめの依頼	2021 年 9 月 11 日支部役員 に今後の進め方について 意見を伺う。メールにて 行う。 2021 年 9 月 27 日上記の結果を 配信。 (1) 総会の中止。 (2) 支部当番幹事は順送り (90 回生) とする。 (3) 総会議題 <会報報告・ 会計報告・会計監査報告> を役員会に一任。 2021 年 12 月 2 日上記 (3) について実施、承認され る。	2021 年 4 月予定の令和 2 年 度支部総会中止 2021 年 8 月予定の納涼会中 止 2022 年 4 月予定の令和 3 年 度支部総会中止	正副支部長会議 令和 3 年 12 月 21 日 (火) 11:30 ~
今年度の計画	原支部総会を 11 月に開催し たいと考えておりますが、 新型コロナウイルスにより 詳細はまだ未定です。	・役員会の開催 (正副会長 会・地区役員会) ・定期総会及び講演会 ・会報の発行 ・本部総会への参加費補助 事業 ・物故会員の弔問参列、弔 問事業 ・長野日報への広告掲載 (2 回)	令和 4 年 11 月: 支部幹事 会 (支部総会について) 令和 5 年 1 月: 支部幹事会 (支部総会について) 令和 5 年 2 月: 支部総会開 催 令和 5 年 5 月: 支部幹事宛 本部総会の通知及び出席取 りまとめの依頼	未定	2022 年 4 月予定の令和 3 年 度支部総会中止 2022 年夏 納涼会 2023 年 4 月 令和 4 年度支 部総会	正副支部長会議 支部役員会 支部総会 今後も若い世代や女性会員 中心に声かけを行い、幅広い 世代が参加できる支部活 動を目指していきます。 事務局 藤森正樹 (86 回生)

学年会短信

<51 回生>

我々五一会は88歳の米寿を最後に解散し、記念に文集『芙蓉』に各人思いの人生を託した手作りの文集を互いの形見分けとして一冊ずつ分ちあった。

出来上がった文集はなかなか評判で追加増刷をして多くの会員に配った。それには戦中戦後の学生生活が生き生きと綴られており、時代が一大転換して行く中での有力な歴史資料にもなると長野県図書館から寄贈の申し入れがあった。どうしてこの文集が県立図書館まで伝わったのだろう。「歴史的価値あり」ということによって所望されたことは誠に嬉しい事であった。

とき暫くして芦屋市に住む藤森定義君より『平成徒然草』の冊子が送られてきた。自分の人生を綴ったエッセイ集というべき本で、長い人生を振り返って「私は本当に幸せでした」のこぼれで結んでいる。仲間を読んでほしいからと希望者には進呈するそうである。

また文集の中で希望があれば進呈したいと申し出をした「夢かうつつか」(2010) 大家勲君の全12ページがある。学生時代の往時の回想録というべきもので一読をお薦めしたい。他に会員の中で何か書き残したものがあつたら事務局までお送りください。デカルトのいう「我思う 故に我あり」の箴言にあやかって「我思う 故に我が人生ありき」である。

五一会は解散したが、消失したわけではない。米寿(88歳)に続いて卒寿(90歳)を迎え、以後は長生きできた同輩諸氏が互いに声を掛け合って余生を思い残すことがないよう人生を全うしたいものである。

(五一会の事務局(世話人代表)を山崎社一君の住所に置く。連絡先 ☎ 392-0027 諏訪市湖岸通り3-1-2 ☎ 0266-53-2525 ※どんなことでも結構です。ご一報をお待ちしております)

(51 回生学年幹事 平島佐一)

<52・55 回生>

東京と諏訪で続けられてきた例会はコロナの影響で思うようには行われていない。諏訪では矢崎精一君、浜一栄君、茅野實君など月例会を支えてくれた常連が旅立ち寂しくなった。そうした中、諏訪の北原君から嬉しい提案があった。それは北原君の実家でもある山梨県台ヶ原宿の名産「七賢」へ皆で行ってみたいかと云うもので、早速幹事を決めて計画化、諏訪大社の御柱祭の終わる5月下旬に中型バスによる小旅行をやることにした。しかしその後コロナの様子が思わしくないため実施期間を秋まで延期して様子を見ることにせざるを得なかった。

我々同期の仲間は「何かをやらうよ」と血が騒ぐのかいろいろなことをやり続けてきたが、その原点は1951年の「卒業アルバム」作りであったような気がする。8クラスから選出されたアルバム委員会(委員長小林貢三郎君)が練り上げ作成した「卒業アルバム」は当時の社会状況からすれば出色のB5版23頁であり、出色の事業であったように思う。

時を経て1988年会名を「双樹会」と命名したが、会名のもと「やること」は加速することになる。因みに主なことを挙げてみた。

「双樹会データベース」の刊行(1988年、79頁)。ビデオ「唐沢山に秋長けて」制作・上映(1988年)。「あ・深山の」双樹会還暦記念誌(1995年刊行:331頁)。「双樹会哀悼基金の設立と運用」(1996年設立~2018年終了)。物故会員、物故恩師の慰霊法要(於地藏寺、2018年までに都合7回実施)。「双樹会美術展の開催」(2006年~連続6回開催、於諏訪丸光、毎回作品集発刊)。「東京双樹会納涼会」(2006年~2013年 於新宿、諏訪から貸切バスで参加)。「双樹会総会」(歴代会長中心に随時実施、2006年~2013年は毎年実施、美術展を観て総会への流ができた)等々。そして、集うことの好きな我々は、恩師を囲む集いあり、各地各所で集いを楽しんだ。思いついたらすぐやる、やることは徹底して夢中でやる、やること全てに双樹会の物好き達の清陵バカぶりが遺憾なく発揮されてきた。

90才台に入る我々に残された時間は多くない。東京、諏訪それ

ぞれに例会が早く再会出来ることと、折角計画した諏訪の小旅行が実施出来ることを願っているところである。

(52 回生学年幹事 千葉 春男)

<64 回生>

33年入学64回生は集まりをザザムシ会と呼んでいる。古稀の集まりを諏訪のホテルで盛大に行った。次の集まりは77歳の喜寿でと決めたが、そこまで待ちきれない意見が多数ありそれでは中間の74歳に諏訪でまた会おうとした。そこで気を使い日曜りのできる時間帯が良いのでは?.....当日役員は10時半集合がすでに大勢集まっており急遽受付開始。この調子では開始は早くしなければと宴会も過ぎ、ホテル内に二次会を設定して二時間程で解散をしたが帰りそうもなくそれでは上諏訪駅まで行って下さい。大手並木道を行くと居酒屋さんが夕方電気を付けていたので、駅から歩いて行き三次会に入る。殆どのメンバーが居た、二時間程過ごし。さあ解散と夕暮れにおきき、役員の慰労で大手の飲み屋さんで呑み結局六次会で翌朝帰宅した。懐かしい思い出です。

コロナ禍の中、東京支部では毎週土曜日夜8時からzoomでその時の話題で議論しているが私はその時間帯は孫のお子守をする大切な時なので参加していない。内容だけはまとめてメール配信で見ている。皆さん元気で何よりです。

傘寿は今年6月を予定に考えていましたが、コロナ禍の今では難しいと判断し来年に延期しました。また公式に集まるのは傘寿を最後と考えています。以降は元気の人同士で集まりを続けてください。ザザムシ会の皆さん再会まで元気でまた諏訪で会いましょう。

(64 回生学年幹事 山崎 晃)

<65 回生>

1、同年会について

恒例の同年会は、昨年はコロナ禍の影響で残念ながら開催できませんでしたが、今年はコロナが納まり開催できることを期待しています。

当番幹事は5・6・7部です、開催日時・場所等の詳細について

は、夏頃には連絡しますので、多数の参加をお待ちしています。

2、「八日会」について

諏訪地域在住の65回生有志が集まる飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月8日の午後6時30分から上諏訪駅前の「いづみ屋」で固定開催していますので、気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。

(65 回生学年幹事 青木成雄 0266-53-0072)

<69 回生>

新型コロナウイルスが全世界・日本で蔓延する中「皆さん集まって、大いに飲んで、大いに語ろう!」なんて昨年に引き続き今年も言えません。状況を見ながら行いたいと思います。

下記の行事の詳細は、メール・はがき等で通知します。

① 大懇親会・宿泊

日時 【予定】10月中旬~下旬

場所 【予定】諏訪湖畔又は蓼科のホテル・旅館

担当 矢澤博 (090-3312-1469) hiro.yaza.8974@gmail.com

② 親睦ゴルフ

85歳まで、120回開催に向けて皆で健康で頑張りましょう。

第85回:4月20日(水)/第86回:6月22日(水)/

第87回:9月7日(水)/第88回:11月9日(水)

会場 フォレストカントリークラブ三井の森

担当 小口憲司 (090-3063-5871) okenji@poll.lcv.ne.jp

③ 定期総会終了後の懇親会

日時 6月25日(土)午後6時30分より

場所 串焼一丁目(諏訪市大手一丁目)

担当 矢澤博 (090-3312-1469) hiro.yaza.8974@gmail.com

④ 「大久保邸」第七回夏の集い(ホームパーティー)

日時 8月10日(水)午後6時より

場所 茅野市宮川「大久保智弘」邸

担当 大久保智弘(090-8301-7172) tomohiro.okubo823@gmail.com

あなたのそばで
あなたの『未来』を守ります

保険のことは保険のプロにご相談下さい

アストのほけん

代表取締役 CEO 松澤 毅 (89 回生)

行動します! 安心と信頼のために

AST 株式会社 アスト・コンサルティング

〒0120-57-2760 諏訪市南町10-5 ☎ 0120-57-2760 諏訪市南町10-5
☎ 0120-57-2760 諏訪市南町10-5 ☎ 0120-57-2760 諏訪市南町10-5
☎ 0120-57-2760 諏訪市南町10-5 ☎ 0120-57-2760 諏訪市南町10-5

●営業時間/平日10:00~19:00
●定休日/土曜日・日曜日・祝日

URL: https://astnohoken.com/

ジュエリーサロン
有限会社 ジェム. カマクラ

鎌倉 宗一 (70 回生)

〒392-0022
諏訪市高島1-18-7
TEL 0266-57-2510

諏訪清陵高校バスケットボール部OB会
第20回諏訪湖杯バスケットボール大会会長

みなさまと共に健康長寿の実現を考える薬局
コミュニティイベントホール カラダリセットルーム
無禁調剤室完備

大坂屋常太郎商店
大坂屋薬局

Since 1867

〒392-0007 長野県諏訪市清水2-7-2 2
電話 <代表>0266-52-0309 FAX0266-52-0310
<薬局専用>0266-52-7756 FAX0266-52-7869

きくち泌尿器科クリニック
Kikuchi Urological Clinic

院長 菊池 俊樹
(83回生)

〒392-0021 諏訪市上川3丁目2314番地
TEL: 0266-78-1045

このハートクリニック
Hono Heart Clinic

〒392-0015 諏訪市中洲5680-1 Tel. 0266-78-5810

院長 河野浩貴 (85回生)

消化器科・内科
清水クリニック

院長 清水俊樹 (86 回生)

諏訪市湖岸通り5-13-18
TEL 0266-53-1625
FAX 0266-53-1635

あるがクリニック
泌尿器科・内科・腎臓内科

日本泌尿科学会 専門医・指導医 院長
日本腎臓学会 専門医 医学博士 有賀 誠司 (87回生)

〒392-0002
長野県諏訪市湯島2-6-3
Tel 0266-78-1235 Fax 0266-78-1235
http://aruga-clinic.com

- 担当 岩波寿亮(090-4010-4644) iwanami@suwatec.co.jp
- ⑤ 東京支部総会終了後の懇親会
日時 10月2日(日) 午後5時より
場所 未定(別途連絡します)
- 担当 比田井昌英(090-2545-7038) masahide.takahidai@gmail.com
- ⑥ 女子会 皆が集まりやすい曜日と場所を選定し幹事から連絡します。(担当 比田井和子 (090-3335-5720) kazukoh@gb3.so-net.ne.jp)

(69 回生学年幹事 矢澤 博)

<71 回生>

“The Dr. Tsuneo Akaha Memorial Scholarship at Seiryō High School” の度 71 回生の故・赤羽恒雄君のご遺族により、現役諏訪清陵高校生の留学支援を目的とした基金が設立されました。そして、この同窓会報の紙面をお借りして、広く同窓生の皆様に基金のご理解と寄付のお願いをするに至りました。71 回生の皆さんには、この趣旨をご理解いただき、率先して協賛いただきたくお願い申し上げます。

“71 回生メーリングリストに参加しませんか” 多くの同期生が参加して自由に情報の伝達・共有する広場です。赤羽基金の設立も、発端は昨年暮れに赤羽君の訃報がこのメーリングリストに寄せられたことから始まりました。現在メーリングリストには 95 名が参加しています。パソコンのメールアドレスに限らず、携帯のメールアドレスでも登録可能です。参加希望者は下記・浜江までご連絡下さい。

(71 回生学年幹事 浜江利明)

TEL: 090-4751-9642 Mail: shibue@shibue-seimitsu.co.jp)

<76 回生>

76 回生は 1973 年卒業、年齢は 67 歳を過ぎた年代になりますが、未だバリバリの現役だったり有期雇用契約で勤務継続している仲間が数多くいます。ポスト団塊世代で人生 100 年時代、元気なら働くのが当たり前、人手不足や人材難から働けるなら働いてくれという

世相が表れています。

新型コロナの流行が始まって二年余り、以前は定期的に開催されていた飲み会で顔を合わせる事ができなくなってしまったのがオンライン会議アプリ ZOOM を使った Web 飲み会です。アカウントを提供してくれている兵庫県在住 K 君の馴染みの飲み屋、神戸三宮「コモ亭」を冠した「Web コモ亭」に毎週金曜日 15、6 人が集まってきました。開店は 20 時。来場も退場も自由。中には帰宅途上の路上からスマホで参加する人もいたりします。テーマを決めないフリートークとテーマスピーカーを決めて話を聞く 2 種類の組み合わせで運営しています。

フリートークでは、高齢者となったお年頃を反映して新型コロナをはじめとする健康管理に関する話題や御往・御神渡りに代表される故郷諏訪の文化・風土に関する話題が多くなります。またプレゼンテーション形式では各自が追いかけてきた仕事や学究に関する紹介をしてお互い大いに刺激を受けています。

Web 飲み会を始めて期しくも交流の頻度が格段に上がったものの、そろそろ顔と顔を突き合わせたリアル飲み会をやりたいものだというのが皆の本音の今日この頃です。

(76 回生 小池一平)

<77 回生>

77 回同期会諸兄姉の皆様へ。コロナオミクロン株の感染拡大の為に不自由な生活を余儀なくされていると思われています。こんな時こそ諏訪実科中学をこの地に立ち上げ、たった 4 人となっても学歴をともしつづけた学友生達の思いを呼び起こしてみるのもよいかもしれません。昨年の短信と同様になってしまいますが、まずはコロナ終息を祈り、その後の同期会開催にむけてクラス幹事ともども下準備を進めて参りたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

(77 回生学年幹事 長田光正)

<79 回生>

2023 年に緑寿の会 (66 歳)、2027 年に古希の会 (70 歳) を盛大

内科・小児科・胃腸科
在宅医療・訪問診療・往診
まつもと 医療法人 松本医院

院長 松本 宙明 (88 回生)

〒392-0007 長野県諏訪市清水 2-4-12 TEL.0266-52-3247

県下No.1の店舗数 県内38店舗展開!!
メガネのナガタ

代表取締役 永田 滋弘 (88 回生)
取締役会長 永田 弘幸 (59 回生)

14th 株式会社メガネのナガタ
〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2323

湖柳
歯科医院
KOYANAGI DENTAL CLINIC

院長 笠原健一 (92 回生 / 学年幹事)

〒392-0027 諏訪市湖岸通り 5-17-1 Tel/Fax: 0266-53-0506

九二会の皆さん: 6/25 土 19:30-20:30 ズーム同期会
前清陵教師 百瀬登君に母校の様子語って頂きます!
参加希望の方、Fax 下されば URL お送りします。

医療法人
高原医院
TAKAHARA CLINIC

整形外科・リハビリテーション科

院長 高原 健治 (93 回生)

上伊那郡南箕輪村 5586 番地 2
0265-98-0385
http://www.takahara-clinic.jp

に行いたいと思いますので、体調管理に気をつけて、元気な笑顔で会いませう。

(79 回生学年幹事 岩波金太郎)

<80 回生>

80 回生は現在 63 歳または 64 歳です。移行措置により、63 歳から特別支給の老齢厚生年金がもらえる最後の世代です。もらえるから文句はないのですが「老齢」という名称はかなりショッキングです。勤め人の同期生は 60 歳で退職ということはほとんどなく、みんな再任用、再雇用で働いています。65 歳を過ぎても働く予定の同期生もかなりいます。

さて、昨年に引き続き、今回も現役で大活躍している 80 回生を 2 人紹介します。一人は諏訪市選出県会議員の宮下克彦君です。県との強いつながりと豊かなアイデアを生かし地元のために貢献しています。もう一人は昨年ご紹介した松本市立病院院長の中村雅彦君です。コロナに関連してメディアにも頻繁に登場し、昨年信毎から本を出版しました。実はふたりとも僕と同じクラス (6 部) でした。テレビなどで目にする彼らの若々しい姿に刺激を受けながら、80 回生、まだまだ頑張るぞ!!

(80 回生学年幹事 大久保純男)

<81 回生>

コロナ禍のため、この 1 年間、81 回生が集まるイベントは残念ながら中止となりました。

同窓生によるボート大会参加は 4 大会出場でき、特に春と秋に開催されるロングレース (下諏訪から初島を回す 6.5km コース) は、3 クルーズつ出艇し、湖上から、春は桜、秋は紅葉を楽しめる機会となりました。メンバーも増え、4 月~9 月まで日曜日の 7 時から練習しています。“みんなが” 楽しく、“みんなが” 健康で体力作りできる会となるように心がけています。お時間があるときに下諏訪艇庫にお越しただければ嬉しいです。飛び入り参加も大歓迎。

コロナ禍が収まれば、下記の行事を予定していますので、メールでご連絡します。多くの参加をお待ちしております。



医療法人祐愛会 祐愛病院

会 長 辛 京碩 (61 回生) 院 長 朱 尚孝 (81 回生)
理事長 辛 太廣 (89 回生) 副院長 辛 宣廣 (95 回生)

〒394-0033 長野県岡谷市南宮 2-2-34
TEL 0266-23-0222 http://www.yuai-hosp.or.jp



ヨコイ眼科

院 長 横 井 秀 俊
(89 回生)

長野県茅野市宮川 4470 番地
TEL. (0266)72-2316

小口歯科医院

日本歯周病学会認定歯周病専門医
JSPD認定スポーツデンティスト

歯科医師 小 口 理 (89 回生)
Osamu Oguchi

〒392-0022 諏訪市高島 1-31-16
TEL 0266-52-0475 FAX 0266-52-5075

いします。

(86 回生学年幹事 林聡一 soichihay@gmail.com)

<87 回生>

皆さんいかがお過ごしでしょうか？本欄は「学年短信」でありませんが、言わずもがな、ここ1年半はいずれも同じと想像しますが、87 回生としても何もしないでいる（笑）。たまに会話のある時、「諸々治まったみんなで集まりたいね」で最後締めくくることがお約束になってますよね。もうしばらくそのエネルギーとモチベーションを温存しておいてください。

ただ、数箇月後に状況が好転しているとも思えず、そうすると来年もまたこの欄で報告なしとなりがねませんから、代替案を何かちょっと考えます。（この欄に報告を掲載することが目的ではありませんが）皆さんにお声がけするので、その節はご協力をお願いします。

(87 回生学年幹事 味澤敏行)

<88 回生>

皆さんこんにちは、88 回生です。

昨年は本部総会（オンライン総会）の学年幹事を務め、開催に当たっては大勢の皆様に出席いただきありがとうございました。

さて、今年は東京清陵会の活動で、88 回生美智子さんを中心に企画をたて、88、89 回の大学の先生方、学校長の協力のもと清陵生（高校）向けに「同窓生によるオンライン大学模擬講義（トライアル）」を4/7に実施しました。

昨今の環境で進路先の情報に生で接することが難しい中、大学で教鞭を取る同窓生から現役高校生の皆さんへ大学生生活の雰囲気をお伝えできればという思いで実施をしました。

先生方の専門的な講義のみならず、自らの進路を目指した動機や受験へのアドバイスなど、進路選択の上で高校の皆さんに参考情報を提供できたと思います。(88 回生学年幹事 倉科和則)

<89 回生>

89 回生は、清陵卒業 25 年にあたる 2011 年の学年会開催を機に交流を深め、クラス幹事持ち回りによる懇親会を数回おきに催してきました。この時クラスごとに整備した連絡網を活かし、わいわいがやがや、今年の当番幹事を担当しています。

昨年7月の清陵祭での同窓会展示を皮切りに、今年2月の東京「ミドルの会」の Zoom 開催、今年度当番幹事として会報の編集、総会イベント準備など、諏訪、東京、東海と地域を超えた繋がりを持ちながら、多才な仲間と連携し進めています。

今回の総会もオンライン配信での企画を検討中ですが、場所を問わず、多くの皆様に楽しんでいただける会を開催できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(89 回生学年幹事 両角はるか・吉中宏子)

<90 回生>

90 回生の皆さん。いよいよ来々 2023 年は私達が総会などの行事

を取り仕切ることになります。私も同窓会の行事になかなか参加できずにこの歳まで来ましたが、これから巻き返しを図り、皆さんと盛上げていきたいと思っています。

来年も online での総会となる可能性がありますが、ある意味距離を感じなくても済むので色々なやり方があると思っています。また、個別にお声掛けさせていただくかも知れませんが、その際は会の盛上げのために依頼を快諾いただけましたら幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

(90 回生学年幹事 小河原一浩)

<91 回生>

91 回生の皆様。コロナ禍を理由にご無沙汰しており、申し訳ございません。お気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、我々 91 回生の学年幹事につきましては、同窓会事務局より特別な計らいをいただき、昨年から私、藤森完一と武居史敏君との二人体制にさせていただきました。これも偏に私の力量不足に他なりません、我々が当番幹事を務める、令和6年度総会にむけて、地元同窓生の中にこそ会を盛り上げて行くためのパワフルな牽引車が必要と考え、申請させていただいたものです。皆様のご理解をいただければ幸いです。また、これまで学年としての同窓会活動が全くできておりませんが、これから少しずつ行ってゆきたいと思います。91 回生の中で行われている活動や同期生のご活躍など情報をございましたら、下記メールアドレスに近況としてお寄せ頂ければ幸いです（この紙面の利用法が、他の学年と全く逆になってしまい恐縮ですが、今後の活動の参考にさせていただければと思います）

(91 回生学年幹事 藤森完一 kanichifujimori@hotmail.com)

<92 回生>

「4 ステップ、やるです！」と力説し、我々の数学力を向上せしめた熊井ちゃんこと、熊井章先生が、昨年末、82 歳で逝去されました。2018 年の卒後 30 周年同期会で米寿をお祝いし、90 名の「金色の民」では、中心で見守ってくださった熊井先生のご冥福をお祈り申し上げます。

昨年6月、佐藤薫君のご協力で、10 名がオンライン飲み会を実施。12 月、東京九二会は、内山君の呼びかけで女子2名を含む8名が対面が集まりました。同期の活躍話は、今年2/27 長野日報1面に、



↓民の中央に熊井先生

清陵教師の百瀬登君（4 月より向陽へ）が、コロナ下で2年間中断していた談話会復活に貢献されたことが掲載されました。また、伊那弥生ヶ丘教頭だった藤澤幹彦君が、長峰中の教頭になりました。3 年後の 2025 年、我々は 130 周年同窓会の幹事学年です。6/25 土 pm7:30-8:30 今年もオンライン同期会を行いますので、ご都合つく方、6/17 土迄に下記にメールをくだされば URL をお送りします！

(92 回生学年幹事 笠原健一 kenkasa@imail.plala.or.jp)

<93 回生>

去る 2021 年 12 月 18 日、岡谷市カノラホール大ホールにて、93 回生の柳澤寿男氏指揮による「タケカワユキヒデ with バルカン室内管弦楽団 World Peace Concert in Suwa 2021」が、盛大に催されました。演奏会に際しまして、同期の皆さんや先輩、後輩方にご協力いただきました。ここで紙面をお借りして御礼申し上げます。氏は現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督ならびにコンソフィルハーモニー交響楽団首席指揮者として、紛争の傷跡が残るコンボと日本を行き来しながら、平和を願って音楽活動を続けています。また、国内では玉置浩二さんと坂本龍一さんとコラボレーションをしての演奏会等で活躍されています。今回は、ゴダイゴのタケカワユキヒデさんの歌声とのセッションでした。コロナ禍でコンサート延期を余儀なくされてきた中で、本当にタイミング良くコンソ管弦楽団の入国が叶いました。カノラホールが感動の渦に包まれました。

このような氏の活躍を応援するために、『指揮者柳澤寿男諏訪後援会』があります。同窓会の先輩方も大勢関わってくださっています。同期生の皆さん、我々もぜひ応援していきましょう。また、同窓会報をご覧になり、興味をお持ちになった方も共に応援をお願いいたします。個人として後援会の会員になってくださる方は一口 3000 円になります。ちなみに、担任だった須藤先生をはじめ、恩師の先生方も会員になってくださっています。詳しくは、以下のメールでお尋ねください。

私は、学年幹事として、氏の応援団長を続けてまいります。これから先も、諏訪の平らをはじめ、日本各地でもコンサートで指揮をする機会があると思いますので、同期の皆さん、ぜひ一緒に応援してまいりましょう。また、同窓生の皆様にも応援の輪を広げていきたいと思っています。ほかに活躍している同期生がいれば、ぜひ応援をしていきたいと思っておりますので、ご連絡ください。

同期の活躍と言えば、五味登之くんが母校諏訪清陵高校野球部監督を務めています。コロナの影響でやっと練習を再開し始めたところですが、監督をぜひ後押しして母校を盛り上げていきたいです。

さて、令和4年度になり、同期の倉坪崇之くんが長野県立富士見高校の教頭先生、北澤洋一くんが茅野市立永明小学校の教頭先生として、諏訪の地に戻ってきました。お帰りなさい。55 歳の当番幹事が徐々に迫ってまいりました。2026 年は 93 回生が同窓会総会の幹事をする当番です。同期のチームワークを高め、ネットワークを

使って、フットワークよく、「ワークわく」するような同窓会総会を目指して徐々に準備していきましょう。そのためには、集まって酒を酌み交わしたいですね。

(93 回生学年幹事 吉川豪 yskwgo@yahoo.co.jp)

<94 回生>

コロナ禍の中で、医療はじめ各分野の最前線でそれぞれ困難に立ち向かう清陵同期・同窓の方々に心から感謝申し上げます。

さて、94 回生（1991 年 3 月卒業）では、一昨年に予定だった卒業 30 年学年同窓会がコロナ禍により開催できないしておりますが、少しずつ準備を進めております。途切れがちな同期の皆様との連絡先の確認とともに、母校連携企画でお仕事や活動等の紹介／講演、職場見学等のご協力をいただける方の登録を募ることも併せて、昨年末から今年にかけてメールと SNS、ハガキで近況と連絡先のお問合せを行っております。もしまだご連絡をいただいていない方がいらっしゃいましたら、こちらの QR コードからアクセスしてぜひご登録をいただければと思います。よろしく願いいたします。



(94 回生学年幹事 藤森賢也 seiry094@gmail.com)

<97 回生>

97 回生のみなさん、元気になれますか？私たち世代も本年度で 47 歳になる御年頃、仕事に家庭にプライベートに目まぐるしく生活している人も多いことでしょう。昨年大活躍のメジャーリーガー大谷選手のようにリアル二刀流ならぬ三刀流で乗り切っていきたいものです。ここ2年ほどディスタンスディスタンスと言われ続け、さすがにそろそろ「うっせえわ」と言いたいところですが今しばらくの我慢のしどころです。それが落ち着きました頃には同年会でも執り行いたいと目論んでおります。もし実現する際はご参加もご検討くださいませ。

(97 回生学年幹事 西村英一 tateshina24@gmail.com)

<99 回生>

コロナ禍の中、今まで当たり前のように開催していた同窓会の在り方について考えさせられることとなりました。

帰省した度に仲間と集まっていた機会は、帰省そのものが無くなり、お互いの近況を確認すること自体も、困難になるとは想像もしませんでした。学年短信と言いつつ、仲間の近況も正直なところ、把握出来ていないことを学年幹事として反省しております。

2022 年、少しずつ、交流を始めて行くのかなと思っております。卒業 20 年記念の同窓会からかなり時間が経過しましたので、地元長野と東京にて、集まる機会を作りたいと考えております。昨今、オンライン環境がとて充実してきましたので、リアルとオンラインを合わせた同窓会、という新しい試みを 99 回生の仲間でも共有して、全国どこにいても同窓会活動に参加出来る、と前向きに捉えていきたいです。(99 回生学年幹事 荒木健太郎)

きれい工房

もう着られないと思った衣類も
復元加工で再生

大成クリーニング

代表取締役 玉本 弘人 (85 回生)

諏訪市豊田 1830-6 TEL 0266-53-3121



設計デザイン・トータルプロデュース
inn 有限会社 スペースイン

代表取締役 宮坂佐知子 (87 回生)

〒392-0007 諏訪市清水 2-3-30 カマクラビル 302
TEL 0266(57)2121 FAX 0266(57)2122
携帯電話 090-1541-7913

(URL) https://spaceinn.co.jp/ (E-mail) spaceinn@agate.plala.or.jp



岡谷蚕糸博物館動態展示



宮坂製糸所
MIYASAKA SILK REELING CO.

取締役会長：宮坂照彦 (60 回生)

役員：高橋榮子 (89 回生)



〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

電話 0266-22-3116

極細線の精密微細加工

有限会社 光和製作所

代表取締役 打保 直樹 (89 回生)

〒392-0131 長野県諏訪市湖南 872-1

TEL:0266-58-2355 FAX:0266-53-7968

2021年度 諏訪清陵高等学校同窓会 会務報告

【注】今年度の本部及び各支部の幹事会・総会は、特別な記述が無い限り、コロナウイルス感染防止の為、書面・ネット・メール等での会議となりました。

4. 6 諏訪清陵高等学校 127 回生入学式
中村博会長祝辞
新入生 241 名 (女子 110 名)
新入生に「校歌」CD を贈る
4. 24 会計監査
中村博会長、後町泰昭監事、樋口尚宏監事
5. 22 清陵祭展示引継ぎ
ZOOM 会議 88-89 回生
5. 24 同窓会報 47 号発送
会報担当 88 回生
5. 29 幹事会 (清陵会館)
書面決議内容検討
中村博会長、岩波寿亮副会長、小尾順子副会長
6. 12 清陵祭展示ミーティング
89 回生 ZOOM 会議
6. 26 同窓会 講演会・談話会
ZOOM にて開催 (88 回生)
7. 3 第 71 回清陵祭
同窓会室展示 89 回生

11. 13 物故者慰霊法要 (地藏寺)
中村博会長・岩波寿亮副会長・小尾順子副会長・
小口雄策校長
11. 21 88・89 回生引継ぎ (清陵会館)
中村博会長・88 回生・89 回生

2022 年

1. 6 赤羽記念奨学金準備会打合せ (高校校長室)
71 回生有志・小口雄策校長・吉澤規至教頭
2. 26 幹事会 (清陵会館)
中村博会長・岩波寿亮副会長・小尾順子副会長・
89 回生
2. 28 支部活動助成金
12 支部長に助成金の申請・振込を行う
3. 3 諏訪清陵高等学校 (125 回生) 卒業式
中村博会長祝辞
卒業生 233 名 (女子 117 名)
卒業記念品贈呈：印鑑セット
3. 23 清陵附属中学校 (6 期生) 卒業式
卒業記念品贈呈：卒業証書入

2022 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 事業計画書 (案)

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

◇新型コロナウイルス感染状況により計画の変更もあります◇ ——— ホームページ等でご確認下さい ———

- 1、母校創立 120 周年記念事業
(1) 母校 120 年史誌作成
清陵祭同窓会室設置
(3) 赤羽記念奨学金制度
赤羽恒雄博士 (71 回生・2021 年逝去) の遺志を繋ぐ制度の確立
(4) 新入生・卒業生 記念品贈呈
入学：校歌 CD
卒業：印鑑
中学生 卒業証書入
- 2、同窓会定例事業
[会員交流事業]
(1) 2022 年度定期総会開催 6 月 25 日 (土)
ホテル紅や
(2) 幹事会開催 5 月・2 月
(3) 清陵同窓会報発行 第 48 号 編集担当 89 回生
(4) 各支部活動促進
(5) 先輩・物故会員慰霊法要 11 月 12 日 (土)
地藏寺
(6) 女性部活動支援
(7) ホームページの充実
[母校教育助成事業]
(1) 母校クラブ活動・自反会助成
クラブ活動・自反会同窓会後援会拡充
会費納入活動強化
母校クラブ後援会会計・自反会会計へ提出
(2) 母校連携交流事業
定期交流会開催



ベルフアカデミー
BERUF ACADEMY.

東進衛星予備校



TEL.0266-75-1150 (月～金 09:00～21:00)
株式会社アイキューブ <https://www.i-cube-education.jp>

2021 年度同窓会一般会計決算書

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

収入総額 20,937,243 円
支出総額 12,975,684 円
次年度繰越額 7,961,559 円

I 収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	8,342,677	8,342,677	0	2020 年度繰越
入会金	2,400,000	2,310,000	△ 90,000	新入生 231 名
終身会費	4,800,000	4,620,000	△ 180,000	新入生 231 名
クラブ活動・自反会後援会	4,500,000	4,464,480	△ 35,520	
受取利息	0	86	86	
物品販売	10,000	0	△ 10,000	
雑収入	5,000	1,200,000	1,195,000	武陽治明様・熊井幸保様志金
収入合計	20,057,677	20,937,243	879,566	

II 支出の部				
科目	予算額	決算額	増減	備考
自反会 (土曜講座) 助成	940,000	940,000	0	
クラブ活動助成 (高校)	1,526,000	1,526,000	0	
クラブ活動助成 (中学)	500,000	500,000	0	
学校運営補助	500,000	101,838	398,162	ボート修理他
その他助成	600,000	325,925	274,075	卒業記念品、学校案内、三澤文庫
定期総会費	550,000	490,150	59,850	運営費、広告代
支部活動奨励金	600,000	600,000	0	支部活動助成金 50,000×12 支部
女性部活動助成	300,000	0	300,000	女性部活動補助
母校連携交流事業	300,000	3,500	296,500	資料作成
その他事業	30,000	0	30,000	湖周マラソン助成
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設備更新
120 周年記念事業	100,000	0	100,000	120 年史
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	250,000	49,233	200,767	幹事会他会議
旅費	750,000	158,260	591,740	役員旅費・事務局長交通費
事務所費	1,000,000	830,778	169,222	消耗品、通信、備品、慶弔、業務委託、HP 維持
基本財産繰入	5,000,000	5,000,000	0	
予備費	4,661,677	0	4,661,677	
支出合計	20,057,677	12,975,684	7,081,993	

2022 年度一般会計予算書 (案)

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

収入総額 19,676,559 円
支出総額 19,676,559 円
収支差引額 0 円

I 収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	前年度予算	増減	備考
前年度繰越金	7,961,559	8,342,677	△ 381,118	
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生 240 名×1 万円
終身会費	4,800,000	4,800,000	0	新入生 240 名×2 万円
クラブ活動・自反会後援会	4,500,000	4,500,000	0	
寄付・遺志金	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
物品販売	10,000	10,000	0	
雑収入	5,000	5,000	0	
収入合計	19,676,559	20,057,677	△ 381,118	

II 支出の部				
科目	予算額	前年度予算	増減	備考
自反会 (土曜講座) 助成	940,000	940,000	△ 100,000	補助金
クラブ活動助成 (高校)	2,338,000	1,526,000	812,000	遠征費・物品補助
クラブ活動助成 (中学)	500,000	500,000	0	遠征費・物品補助
母校連携交流事業	300,000	300,000	0	講師派遣他
学校運営補助	500,000	500,000	0	海外語学研修 (中学) 含む
その他助成	600,000	600,000	0	卒業記念印鑑・学校案内・清水ヶ丘便り
定期総会費	550,000	550,000	0	運営費、資料印刷費、広告他
支部活動奨励金	600,000	600,000	0	支部総会ご祝儀
女性部活動助成	300,000	300,000	0	本部・支部助成
その他事業	30,000	30,000	0	湖周マラソン助成 (レモン代・OB 参加奨励)
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行・発送
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設備更新
120 周年記念事業	100,000	100,000	0	120 周年史
ホームページ充実	100,000	100,000	0	同窓会事業拡充・会員交流拡大
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	250,000	250,000	0	常任幹事会・幹事会他
旅費	750,000	750,000	0	役員会旅費・交通費
事務所費	900,000	900,000	0	消耗品、通信、備品、慶弔、業務委託
基本財産繰入	5,000,000	5,000,000	0	
予備費	3,568,559	0	3,568,559	
繰越金	0	4,661,677	△ 4,661,677	
支出合計	19,676,559	20,057,677	△ 381,118	

2021 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 基本財産及び特別会計 決算報告

2021 年度 諏訪清陵高校同窓会基本財産目録 (2022 年 3 月 31 日現在)		
(内訳)	定期預金	諏訪信用金庫 20,018,405 円
	同	諏訪信用金庫 10,006,116 円
	同	諏訪信用金庫 3,002,765 円
	同	諏訪信用金庫 1,401,833 円
	同	八十二銀行 5,503,592 円
	同	八十二銀行 2,001,843 円
	同	八十二銀行 5,001,697 円
	同	八十二銀行 5,000,000 円
	※ 合 計 ※	51,936,251 円

2021 年度 遺志金 特別会計報告

(2022 年 3 月 31 日現在)

遺志金特別会計 (笠原文武様)	
前期残高	472,948 円
利息	4 円
ブラッシング指導料	36,080 円
差引残高 (2022 年度へ繰越)	436,872 円

2021 年度 同窓会報 特別会計決算報告

(2022 年 3 月 31 日現在)

繰越金	1,497,531 円
繰入金	1,800,000 円 (一般会計より)
利息	14 円
広告収入	820,000 円
支出額	2,574,805 円 (印刷費・発送費)
差引残高	1,542,740 円 (2022 年度へ繰越)

2021 年度 会館維持 特別会計決算報告

(2022 年 3 月 31 日現在)

繰越金	1,369,256 円
繰入金	50,000 円 (一般会計より)
利息	12 円
支出額	0 円
差引残高	1,419,268 円 (2022 年度へ繰越)

清陵高校クラブ後援会（3者）会計報告（同窓会・PTA・校友会）

平成9年度に同窓会・PTA・校友会により結成された「清陵高校クラブ後援会」も発足以来24年を経過しました。同窓会からは会員各位のご理解を得るなか、この間、約6,523万円の活動をいたしましてまいりました。

令和3年度は、コロナ禍に翻弄される中、部活動が制限される期間もありましたが、インターハイが多くの方々の方々の努力の甲斐あって1年ぶりに開催されました。総文祭についても、一部開催方法を変更したのもありましたが、工夫を凝らしながら開催されました。

このため、本年度は延べ59大会に677名の生徒が「清陵」の名を背負って参加し、頑張っておりまいた。運動部は陸上部、スケート部、端艇部が全国大会出場を果たしたほか、文化部では化学部、天文気象部、書道部、古典ギター部が全国クラ

スの大会に出場しています。

このほか、北信越大会に男子テニス部、囲碁将棋部が参加するなど幅広い分野で活躍し、コロナ禍による制限があっても、クラブ活動を通して、充実した高校生活を送ることができました。

これらは同窓会会員の皆様をはじめとする後援会の皆様のおかげであると、生徒及び関係者一同、心より深く感謝しているところでございます。

令和4年度もコロナ禍の終息が見通せないなか、クラブ活動にも少なくない影響が生じると予想されますが、生徒たちが一生懸命クラブ活動に励むことができるよう学校としても一層努力してまいりますので、引き続き絶大なる支援を賜りますようお願い申し上げます。

（学校事務長 宮城 清幸）

令和3年度クラブ活動後援会（3者）会計決算

収入総額 9,491,319 円			
支出総額 7,344,529 円			
差引残高 2,146,790 円			
(単位：円)			
収入の部		支出の部	
科 目	予算額	収入済額	差引増減
繰入金	4,700,000	4,700,000	0
同窓会	1,526,000	1,526,000	0
P T A	2,513,000	2,513,000	0
校友会	661,000	661,000	0
県費等補助金	268,751	1,760,069	1,491,318
雑収入	25	26	1
繰越金	3,031,224	3,031,224	0
合 計	8,000,000	9,491,319	1,491,319
科 目	予算額	支出済額	差引増減
生徒遠征費	5,650,000	4,582,078	1,067,922
大会参加費	600,000	723,660	-123,660
登録料	800,000	781,321	18,679
施設使用料	800,000	1,186,580	-386,580
事務費	20,000	14,568	5,432
備品購入費	100,000	56,322	43,678
予備費	30,000	0	30,000
合 計	8,000,000	7,344,529	655,471

「清陵高校クラブ活動・自反会 同窓会後援会」ご協力をお願い

平素は同窓会活動にご支援いただき、誠に有難うございます。

今年は、昨年末のコロナウイルス収束の期待が、年初からのオミクロン株の急拡大により、吹き飛ばされてしまい、引続きコロナ禍での生活を余儀なくされております。生徒達の学習活動も徐々にオンライン学習との併用が定着してきているもののやはり様々な面で、学習活動に支障が出ているように思われます。

このような時こそ、同窓会が母校そして生徒達をしっかり支援していく時だと考え、一昨年より、特段のお願いを申し上げた処、大勢の同窓生より後援会費を納入いただきました。心より感謝申し上げます。

この後援会費は、平成9年から「清陵高校クラブ活動同窓会後援会費」として、母校のクラブ活動・同好会活動への補助として支援を始め、更に平成28年度からは、それに加え自反会

（土曜日の補習授業、模試、進路指導、基礎学力確認テスト等）や課外学習の充実支援を目的にPTA等とともに同窓会としても輝かしい伝統を未来に繋げるべく、より多くの同窓生にご支援をお願いしてきたものです。オミクロン株の変異株が激増しており、コロナ収束もまだ見通せない中、この趣旨をご理解いただき今年度もより多くの同窓生より後援会費（10,000円）を納入いただきますようお願い申し上げます。

ご送金方法

○同封の「ゆうちょ銀行 払込取扱票」でお願い致します。振込手数料は本会の負担ですが、節約のため、可能な限り「ATM」をご利用願います。
○ご都合で5年分一括でない場合は、お手数ですが金額を訂正してお振り込み願います。

長野県外在住の同窓会員の皆様へ

ふるさと納税制度を使って間接的に 母校への寄付ができます



クラブ後援会会員芳名（敬称略）

以下の名簿は、令和3年4月1日～令和4年3月31日に、会費をお振込み頂いた方々です。ご協力ありがとうございました。

38 回生	藤井 真之	高木 祥勝	牧 成治	有賀 良夫	小林 茂光	小松 俊一	名取 完治	川崎 剛
北原 文雄	堀川 尚武	高木 正喜	丸山 佳広	牛山 和義	小林 隆夫	坂本 忠信	橋代 章平	98 回生
44 回生	溝口 正	野澤 勲	蜜澤 裕二	春日 昌明	小松 正隆	東城 清秀	宮坂 敏明	飯島 浩樹
伊藤 善光	宮澤 弘	原田 聖史	両角 伸昭	松川 陽子	竹村 文男	79 回生	吉江 伸夫	山本 睦
土田 武雄	渡部 清	藤森 和弘	両角 實	後野 泰昭	中村 博	伊藤 幾文	87 回生	99 回生
藤森 茂一	57 回生	藤森 政文	横山 嘉一	小林 史宜	林 健康	岡西 おり	沼田 典子	小野 剛史
45 回生	天野 丈久	矢崎清太郎	米沢 豊	64 回生	小松 順一	丸田 哲	関西 一彦	矢崎 裕夫
小松 直樹	岩垂 弘	61 回生	武井 省吾	垣内 直	花岡 楓好	宮澤 繁子	小川 幸子	宮坂 大
林 四郎	岡田 茂	伊藤 章里	牛山 俊	河西 勝	藤森 富雄	山田 孝實	原田 和明	河西 文子
46 回生	小林 晋作	小松 浩	太田 龍朗	小飼 隆文	宮坂 松市	73 回生	原田 健	高橋 亨
松沢 芳武	五味 乙	藤原 康夫	河野 靖好	小松 史俊	伊澤 清	マディオン啓子	丸茂 修一	増澤 浩一
47 回生	小松 正樹	清水 賢祐	川村 昌平	小松 史俊	伊澤 駿二	遠藤 進	80 回生	矢嶋 浩行
茅野 茂治	清水 和宏	立石 邦久	藤澤 玄雄	祖父江宏三	小野 仁	熊谷 靖樹	伊藤 廣志	89 回生
48 回生	川窪 純光	窪田 定雄	窪田 利弘	溝口 幸二	宮澤 玄治	高木 伸二	山田 雄一	小澤 弘
山岡 正邦	49 回生	上原 秀秋	土田健次郎	50 回生	赤羽 正臣	伊藤 長城	宮澤 三郎	青木 成雄
小泉 作一	五味 郁夫	伊藤 隆一	高見澤忠明	守屋誠太郎	山田 頼義	62 回生	飯田 力也	小口 剛
51 回生	今井 好昭	小林 信男	金松 直也	小林 俊介	小松 梨伴	進藤 八郎	林 将雄	藤森 定義
三輪 祐司	52 回生	笠原 邦三	金子 信也	細川 勢志	浜 一栄	両角庄二郎	永田 弘幸	55 回生
平林 正保	56 回生	有賀 清	小坂 弘	河西 啓二	酒井 利男	下平 勝幸	武居 浩明	土橋 平治
土橋 平太郎	中村 宏	平塚 一貴	小松 寛之	小松 寛之	小松 寛之	小松 寛之	小松 寛之	小松 寛之